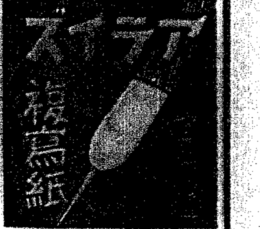
臺灣日日新報 夕刊
八月一日
發行所 臺北市 臺灣日日新報社



西班牙内亂を廻り 歐洲の不安濃化

各國互に疑心暗鬼を抱き 謠言其の間に百出

【パリ三十一日發同盟】スペイン内亂を繞る歐洲の不安は全く深化するに至つた。英、獨、佛、伊、ソ聯各國政府は内亂に對し不干渉の態度を以て來たが、既に地中海に於ける英國の勢力と利害に關係し、列國不介入を宣言してゐるが各國は互ひに疑心暗鬼を抱き謠言その間に百出する有様である。就中セヴイリア市内の叛亂軍は伊、ソ聯政府が政府軍を援助してゐると報じ、一方カサブランカよりの報道に依ればアルジェリアに不時着したイタリー飛行機は叛亂軍用のものであると云はれる更にロンドン電報に依れば英國海軍當局は五十隻以上のスペイン近海に派遣してゐると傳へられるがナチス機關紙フエルキツシヤー・ベオバハター紙は三十一日號として「歐洲の勢力均衡が獨裁國家と民主主義國家との對立で崩壊せんとしてゐる際だけにスペイン内亂の推移は歐洲政局に如何なる影響を及ぼすか豫測し難い情勢である」と述べてゐる。

人事權一元化最初の 陸軍定期大異動

けふ正式發令さる

【東京一日發】人事行政の一元化最初の八月の陸軍定期大異動は去る二十三日内奏を經て一日左の如く正式に發令されたその主なるもの左の如し

皇族御進級

任陸軍步兵大尉(各通)
騎兵第一聯隊附 陸軍騎兵中尉 (竹田宮)恒德 王
陸軍士官學校教官 陸軍騎兵中尉 李鍝 公

皇族御轉補

補陸軍騎兵學校研究部主事 陸軍騎兵大佐 (春)仁 王
補騎兵第一聯隊附 陸軍騎兵中尉 李鍵 公
補野戰重砲兵第八聯隊附

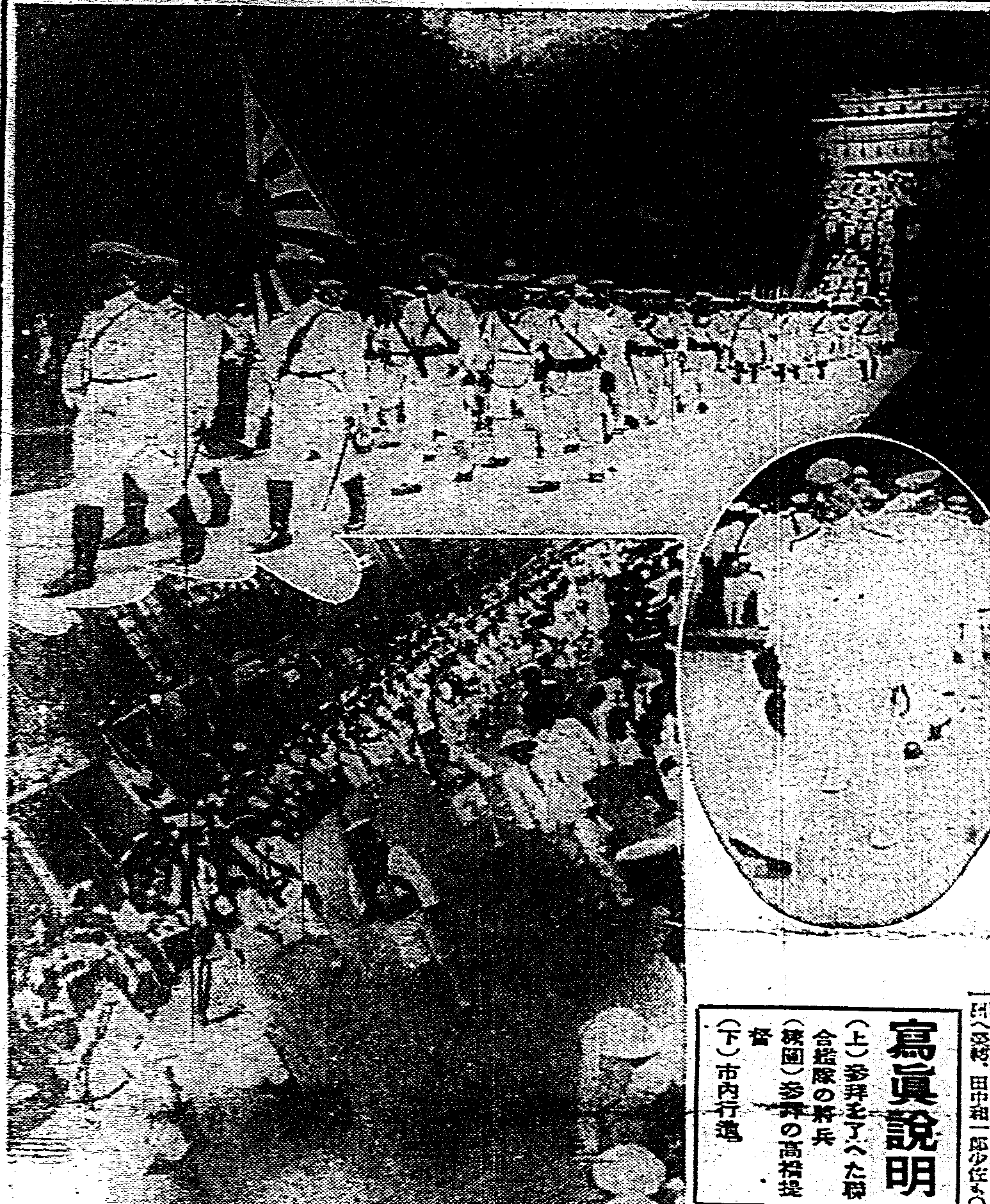
進級

任陸軍大將
技術本部長 陸軍中將 岸本綾夫
任陸軍少將
步兵學校幹事 步兵大佐 鋳田 ……
第二師團司令部附 少將 ……
任陸軍中將(各通)
參謀本部第一部長 少將 桑木崇明
同 ○○○○旅團長 少將 小笠原數夫
任軍醫總監
第四師團軍醫部長 軍醫監 法貴六郎
第十四師團軍醫部長 同 石黑大介
近衞師團軍醫部長 同 …… 宏
任獸醫監(各通)
陸軍獸醫學校長 獸醫監 松尾千秋
任陸軍少將(各通)
千葉陸軍兵器支廠長 步兵大佐 府田鐵重
兵器本廠附 …… 野田 …… 大郎
騎兵大佐 武藤清五
第二十師團參謀長 ……
陸軍科學研究所員 同 平田貴吉
陸軍造兵廠火工廠長 同 八木鐵郎
野戰重砲兵第四聯隊長 同 大塚貞……
第十一師團參謀長 同 早宮清
步兵大佐 片山理一郎

步兵第七聯隊長 同 北原一視
……兵器部長 騎兵大佐 武田於莵三
野砲兵第二十六聯隊長 太田……
……陸軍兵器本廠 木村兵太郎
步兵第十五聯隊長 步兵大佐 秋山藤太郎
陸軍省兵務局 中井良太郎
近衞師團司令部附 ……
步兵學校教導隊長 步兵大佐 ……
近衞師團司令部附 ……
陸軍航空兵大佐 井下忠助
第九師團參謀長 步兵大佐 桑名照武
騎兵第二十四聯隊長 ……
金澤聯隊區司令官 步兵大佐 金子定一
名古屋聯隊區司令官 ……
仙臺陸軍教導學校長 同 山田 ……
大阪陸軍兵器支廠長 騎兵大佐 古野……
陸軍技術本部員 ……
輜重兵第六聯隊長 輜重兵大佐 來島 ……
所澤陸軍飛行學校幹事 航空兵大佐 長嶺貢一郎
任陸軍少將(各通)
千住製絨所長心得 一等主計正 吉野……
第二師團經理部長 同 大内……
第十二師團經理部長 同 十川登
任主計監(各通)
臺北衞戍病院長 ……
任軍醫監(各通)
……衞戍病院長 ……正

轉補

東京第一衞戍病院附兼…… 軍醫監 北川……
陸軍衞生材料廠長 一等軍醫正 中山 ……
任獸醫監(各通)
第十二師團獸醫部長 一等獸醫正 橋本庄太郎
參謀本部附 陸軍中將 杉山元
補教育總監部本部長 久村種樹
補技術本部長 …… 門 ……
陸軍省兵務局長 …… 多田 ……
科學研究所長 ……
補臺灣軍司令官 柳川平助
補陸軍航空本部長 畑俊六
補陸軍航空本部附 古莊幹郎
補陸軍兵器本廠附 今井清
補第四師團長 陸軍砲工學校長 永持源次
補近衞師團長 ……



寫眞說明

(上)參拜を了へた聯合艦隊の將兵
(楕圓)參拜の高橋提督
(下)市内行進

臺灣神社詣で 崇嚴なる奏樂裡に

高橋司令長官參拜

聯合艦隊の臺灣神社參拜隊は指揮官山森中佐、副官古川中尉第一大隊長城島少佐、第二大隊長杉本少佐に率ゐられ准士官以上三十八名、下士官兵一千百五名より成り、一日午前八時四十一分臺北驛着臨時列車で着北、直に袴水袴に切替同九時圓山驛着下車、軍樂隊を先頭に一同武裝に身を固め一糸亂れず步武堂々隊伍を整へて圓山運動場前より御成街道を經て本參道を行進、同九時四十分臺灣神社拜殿前に總隊形二線に整列し高橋司令長官の來着を待ち十五分間山口宮司の臺灣神社に就ての講話があつた、一方高橋司令長官一行は午前九時四十分日の丸旗を翻し自動車を連ねて、任意參拜の水兵、市民の往來しきりなる御成街道を經て臺灣神社に到り、同十時高橋司令長官一行は拜殿前に着劔直立不動の姿勢にて整列せる參拜隊の中を拜殿に進み、一同捧げ銃、崇嚴なる軍樂隊の奏樂裡に同十時十分正式參拜を終つた、隨參拜隊一行は直ちに臺北市内行進に移る可く同十時四十一分圓山驛發臨時列車で臺北驛に向つた

壯烈な市内行進

市民堵を作って歡迎

[illegible]中佐に率ゐられた千百四十三名の參拜隊は臺北驛に着くや……一日午前十時五十五分臺北驛前を……
……に整列し同十時五十五分京樂隊を先頭に行進を起し、軍艦マーチの勇壯な……を始め本町通を……し、本町通を直進し、京町……、太……のメイン・ストリートを行進、沿道に溢れた市民の……

高橋提督視察

高橋聯合艦隊司令長官は一日午前十時臺灣神社正式參拜後、原第三艦隊司令官、野村參謀長以下幕僚を隨へ博物館を視察後中央研究所に向ひ平塚所長の案内で所内を詳細視察後マングースと蛇の鬪爭に興をつくし正午鐵道ホテルで晝食をとつた

加藤司令長官に歡迎の電報

第二艦隊の首部は三十一日夜基隆に入港したので、本社長より大公に……の電報を第二艦隊司令長官加藤中將宛に打電した
第二艦隊の首部…歡迎の意を表し……本島の…
のため閣下の御加を寄り上く
…同艦隊の今回の御巡航……感
民られ親しく……接し得ざる
は臺灣北部住民として……
す、茲に謹みて貴艦隊の……
たらんことを祈る平上く

臺灣軍の異動

柳川軍司令官の轉出を初めとして

陸軍定期異動に伴ふ臺灣軍關係の異動は一日左の如く發令されたが臺灣軍司令官には柳川平助中將が親補され……松井大佐は今次の異動で大佐に進級……上村……參謀……などいづれも轉出する……ることとなつて…従來にない大異動である。上村高級參謀の後を襲ふ山内大佐は今次異動で大佐に進級せる陸士二十五期生、……臺灣の人といはれアメリカ駐在武官、教育總監部部員、陸大教官などを經て支那駐屯軍參謀に轉補せられた、シヤム國駐在武官として海外に在した田村參謀の後任林中佐は陸士二十六期生、永らく北支那に在勤北支駐屯軍司令部附を經、軍司令部附兼水大尉は少佐に進級の上○○本部派遣として派遣、交替…田中和一郎少佐…○○

轉補

臺北衞戍病院長 軍醫監 武内三千春
臺灣軍參謀 步兵大佐 上村…男
臺灣軍參謀 步兵大佐 山内正文
陸軍大學校兵學教官 步兵大佐 松本…
臺灣軍參謀 步兵中佐 林義秀
臺灣軍司令部附 步兵中佐 山本務
兵器本廠附兼兵器局課員 ……
臺灣第二聯隊附 步兵少佐 能瀬平方任
臺灣步兵第一聯隊附 步兵中佐 高見…
學校配屬將校…
同 步兵少佐 田中和一郎
學校配屬將校 步兵少佐 細野清治郎
臺灣守備隊司令部副官 步兵中佐 宮丸(清)武
臺灣步兵第一聯隊大隊長 步兵少佐 清水孝貞
臺灣步兵第一聯隊附 步兵少佐 森山二郎
臺灣步兵第一聯隊副官 步兵少佐 壽井…
臺灣步兵第二聯隊附 步兵少佐 …
臺灣步兵第一聯隊大隊長 步兵少佐 田中俊士
臺灣步兵第二聯隊大隊長 步兵少佐 中山末喜
臺灣步兵第一聯隊附 步兵少佐 稲代良一
臺灣步兵第二聯隊附
臺灣山砲兵聯隊附 砲兵少佐 福島太郎
臺灣重砲兵聯隊附 ……
基隆要塞司令部部員 砲兵中佐 佐々木博
澎湖島要塞司令部副官 砲兵大尉 …
基隆重砲兵聯隊長 ……
補馬公重砲兵大隊長 …
補臺灣山砲兵第三大隊長 砲兵少佐 城戸守雄

憲兵隊異動

臺灣憲兵隊の異動は八月一日附を以て左の如く發令されたが、今度新設された基隆分遣隊長は東京憲兵隊より野村特務曹長が來任する事となり、基隆分遣隊の增員によつて隊下の下士官兵には異動の異動を見た

補佐世保分隊長 臺北分隊長少佐 平林茂雄
補臺北分隊長 憲兵大尉 林秀雄
補基隆憲兵分隊副官 憲兵大尉 小林榮雄
補基隆分隊長 ……
澎湖島分隊長 小林…
補姫路分隊長 大尉 茂木江茂太郎
補澎湖島分隊長 補小官分隊長
東京憲兵隊特務曹長
命基隆分遣隊長 野…清治

三千餘名に上る

今次陸軍異動の特色

【東京一日發】今次の陸軍定期異動の範圍は軍司令官以下三千餘名に達する大異動でその特色とする所は
一、國軍の團結強化を特に注意したこと
一、士氣の振作に重點を置いたこと
等で從來に比し特徴的な所は
一、師團參謀長などの要職勤務を重視し優秀適任者を充當、特に新進の聯隊長を抜擢するものを要職長として採用したこと
一、陸軍大學を卒業しないものでも學歷等に拘泥せず優秀適任者である
一、内外地勤務の均衡をとる事に留意したこと
であれば參謀本部部員又は陸軍省課員に師團參謀に起用し從來の弊風一掃に努めたこと

豫備役と待命

【東京一日發】陸軍省一日午後一時發表
陸軍大將 西義一
同 陸軍中將 小岡…四郎
同 陸軍少將 丹下…次郎
陸軍中將 細川忠…
陸軍中將 村井…
陸軍中將 岸本…夫
陸軍中將 中島…三郎
待命被仰付(各通)
第三師團司令部附 陸軍中將 田中…

その日その日

海軍一色に塗りつぶされて、軍國の盛夏、南方第一線の山川草木悉くその明色に一際色映ゆ
○
この好機に於て、臺灣の現狀に就ても充分の認識を把握されんことを切に希望する
○
皇紀二千六百年、意義深きその月、全世界スポーツの粹を集めて帝都にオリムピツク大會開く
○
明まだきベルリンよりの吉報に全日本人の胸は躍つた、創始十二回目にしてアジアへ、而して東京へ―
○
流石にスポーツ精神に鍛へられてゐる人々だけに、約束は充分に守られた、東京がヘルシンキに勝つたもソノため
○
伸び行くスポーツ日本に先づ凱歌揚る!
○
一方に陸軍の大異動、人事一元化の功罪、果して幾何
○
床の間は抹殺と決つたらしい、置き物は何時もこの人に限るやうだ
○
右か左か、黒か赤か―スペインの叛亂を楔機に、歐洲政局の色調がだんだんとはつきりして來る
○
國民のそよぎにも挑戰かす歐洲の現狀だ、フランスがうつかり乘出したらそれこそコトだらう

進級

任陸軍東京… 一等軍醫正 武内三千春
任陸軍步兵大佐 步兵中佐 服部直臣
任陸軍步兵中佐(各通) 步兵少佐 飯……正徳
同 上坂 勝
同 五十君直彦
同 …… 都彦
同 宮丸清武
同 神崎吾次郎
同 長谷川貫夫
任陸軍步兵少佐(各通) 步兵大尉 …… 稲代良一
同 田中一郎
同 清水一…
同 森山二郎
任陸軍砲兵中佐 砲兵少佐 田村浩
任陸軍砲兵少佐 砲兵大尉 …… 安己
同 加藤助一
同 伊藤政治
同 城戸守雄
任陸軍砲兵少佐(各通) 工兵大尉 高島直一
任陸軍航空兵中佐 航空兵少佐 松友治雄
任陸軍航空兵少佐 航空兵大尉 矢野勝一
任陸軍一等主計正 二等主計正 安田求
任陸軍三等主計正 一等主計 大森三郎
同 河部…一
任陸軍二等軍醫正 同 安井二郎

▲宮崎義吉氏(前總督府臺北支店長)一日上京

人事

九票の差をもつて 遂に"東京"開催と決定

四ケ年の努力も酬いられ 凱歌・見事日本に擧る

【ベルリン三十一日發同盟至急報】三十一日の國際オリムピツク委員會において一九四〇年の次期第十二回國際オリムピツク大會夏季大會を三十六票對二十七票をもつて東京に開催するに決定した

各國の我國に對する正しき理解の現れ

大會をして意義あらしめよ 廣田首相語る

【東京一日發】オリムピツク東京開催決定に對し廣田首相は左の如き談話を發表した

第十二回オリムピツク大會が東京で開催される事に決定したといふ通報に接し寔に欣快に堪へない、之は我國關係者の努力に負ふところ素より多からうが世界各國の我國に對する正しき理解の結果と解され一層本懐の至りである、大會の開催は恰も我が皇紀二千六百年に當り我國に執つては特に記念すべき年に行はれるのであるから我が國民體育の向上に資するの他、我國民性の長所を世界に向つて發揚する爲この好機を空しうせざらん事を切に希望する

感激！只それだけ

副島、嘉納兩委員語る

【ベルリン三十一日發同盟】大西洋オリムピツク大會開催地が東京と決定するや老軀に渾身の努力を費ひ切つた副島、嘉納兩委員は此瞬[illegible]の郷にも勝利の微笑みを頰に浮かべ會場から現はれたが結果如何と待ち來してゐた平沼團長等にかかへられるやうに迎へられるや安堵の疲れか喜びの瞬から淚が流れ出て[illegible]に[illegible]の、副島氏は感激に震へてゐた嘉納氏は交々次の如く語つた

感激！ただそれだけであります在ベルリンの人達や遠く祖國の人々がこの結果をどんなに待たれて居られた事かと思ふと私共の胸にも熱い國民的感激がもり上ります偏に全日本の國民諸君の[illegible]

平生文相語る 僕は確信してゐたよ

【東京一日發】オリムピツク東京の青報に平生文相は相好を崩して語る

僕は最初から來ると確信してゐたの[illegible]發表の聞と[illegible]します

本社休憩所で接待を受ける六兵さん

二・二六事件の背後關係の犯行概要（一）

三十一日 陸軍省發表

山口一太郎 は[illegible]前後策に[illegible]に堪へざるものありと[illegible]しこれを革新是正して國體の眞姿を顯現し特に國民生活の安定、國防軍備の充實を遂らざるべからずと思惟し今次叛亂事件の[illegible]、[illegible]等と相識るに及び[illegible]を有するも直接行動

をもつて[illegible]を打倒しその目的を達成せんとする企圖を有するものたるを知り

自宅を もつてその集合[illegible]

当然の 意を表示し[illegible]

放任し [illegible]

義軍な りと[illegible]

挫折せ しむるものなり

[illegible]

今一日午後七時半より 新公園に於て（但し雨天の場合は來る三日夜開催）

發聲 海軍映畫の公開

「帝國海軍の精鋭」一卷（[illegible]）「[illegible]」八卷外本日撮影の臺灣神社參拜市中行進等のニユース映畫

大會をアジアへ…… 支那も東京へ投票

歷史的感激の裡に總會終る

【ベルリン三十一日發同盟】大西洋オリムピツク大會東京開催に決定した歷史的總會第二日は三十一日午前十時三十分ホテルアドロンに開會、先づラツール伯よりオリムピツク及び五輪のマークを濫用してゐる國があるので關係各國で一定した規定を設けられたいと注意を促した、この時支那代表王正廷氏突如發言を求め極東大會開催の統轄せる[illegible]及び自國の立場を[illegible]

國際オリムピツク委員會が

當然こ の問題の[illegible]すべきである

とて日本に突かかつたが副島伯はこれは王正廷氏と個人的に協議する事に諒解が出來てゐるではないか

とて一蹴遂に其の[illegible]は去られ會議はあつさり同十一時四十分一先づ散會、一同は[illegible]長官チヤムルオステン氏の午餐會に臨んだ後午後二時四十分再開、新任委員を含む各委員五十一名[illegible]國際スキー聯盟とのアマチユア問題から一轉して冬季[illegible]

[illegible]の[illegible]に[illegible]て[illegible]

急速に 進展し嘉納代表は投票に先立ち發言を求めかねての決意に基き日本側必ずしも冬季大會を[illegible]するものではない旨を述べ次でラツール伯は[illegible]を

無記名のまゝこれをラツール會長に提出し終つていよく開票に入りラツール伯がその結果を讀み上げるや議場はさつと緊張し劇的シーンを展開したが遂に九票の差で日本が開催地を

獲得した この時勝利の榮光に輝く嘉納治五郎氏は滿場の拍手に迎へられつつ起つて第十二回オリムピツク大會が日本に來た以上は余はあらゆる努力を盡し萬端の準備をもつて諸國選手[illegible]の東大使[illegible]に[illegible]

に輝かしき一頁を追加すべき島内[illegible]

君を迎へるものである

と[illegible]な謝辭を述べた、次で今まで日本と對立戰を續けて來たフインランド委員クロギウス氏起つてスポーツマンライクな率直な態度で日本の勝利を祝福し英國のアバデアー卿、カナダのブラウン氏或はオーストリアのシユミツト博士[illegible]

何處の國よりも優秀完全を期す

牛塚東京市長談

定された事に眞に欣快に堪へない、回顧すれば前市長永田秀次郎氏が昭和七年七月二十九日ロサンゼルスに

開催さ れた第十回オリムピツク大會における同委員會の席上、東京市長の名において正式に第十二回大會の招請狀を提出して以來官民一致四ケ年に亙つた努力が今日漸く實現した譯である、七十餘歲の老軀を提げて遙々ベルリンに行かれた嘉納博士や副島伯の努力は國民と共に感謝しなければならぬ、又今日の成功を見すして逝去された[illegible]博士等の功績を忘れてはならないと思ふ、第十二回オリムピツク大會を開催する一九四〇年は時恰も皇紀二千六百年に

相當し 東京市において は我國最初の萬國博覽會も開催される、オリムピツク大會と相俟つて眞の日本の文化的價値を全世界に宣揚すべき絕好の機會であると信ずる、東京市としては衷れて公然せる如くオリムピツクの各施設や選手派遣費補助費支出等に關しては全力を傾倒して準備を進め、四ケ年間において今日まで開催された[illegible]オリムピツク大會に比して何處の國よりも優秀完全を期する決心である

島内定期航空の輝かしい店開き

けふ・側風をついてスーパー機 先づ西部ルートを飛ぶ

定期航空（貨物郵便物のみ）の初飛行は豫定の如く八月一日より先づ西部線臺北高雄ルート三二四キロの航路から盛大に行はれた、この日この歷史的壯擧を祝福すべく出發時刻の午前九時に先立ち同八時半頃から

堀田交通局總長、戶水遞信部長、[illegible]航空係長、片山工務、山下貯金、佐々木電氣の各課長、佐倉航空官、日本航空輸送會社側からは淺香臺北支所長、同武田營業所主任等各關係當局者の他に軍部から大木憲兵隊長、平林臺北分隊長、北島航空兵課等多數が臺北飛行場に詰めかけ

早くも 飛行場内はこの歷史的壯擧を壽ぐに相應しい歡喜の渦が橫溢してゐる、斯くて午前八時五十五分この日晴れの乘務員石上、諏訪兩操縱士、五味機關士並に島内初乘りをする戶水遞信部長、吉内書記、淺香日本航空臺北支所長の六氏を中心に一同寂寞の裡につき先づ堀田總長から

待望の島内定期航空も目出度く開始を見るに至つた事は誠に御同慶に堪へない、遞信部當局を始め日本航空輸送會社の不撓不屈の努力により今日の初飛行の壯舉の有終の美を擧げられる樣に切望する次第である

と一場の挨拶をなした後一行の壯途を祝し乾杯、祝する者も祝される者も「新臺灣號」の壯行に溢るる[illegible]

完成は 勿論島内定期航空[illegible]

るはしい情景である、斯くて定刻過ぐる十分後スーパー機JーBATOは多數の郵便物、新聞等並に三萬枚のビラ、本社新竹市内版等を滿載し一行六名を乘せてジユピター四百二十馬力發動機の爆音も高らかに臺北飛行場を離陸した、當日高雄の天候は豫期以上でそれに

連日の 雨で飛行場の半分が浸水し五米の側風が吹いてゐるため着陸不能の場合には高雄市上空でビラを撒布して歸路につくため萬一の場合を豫想して往復六時間分の燃料を滿載し飛行の安全に備へた

本社長より メッセーヂ 淺香氏に託す

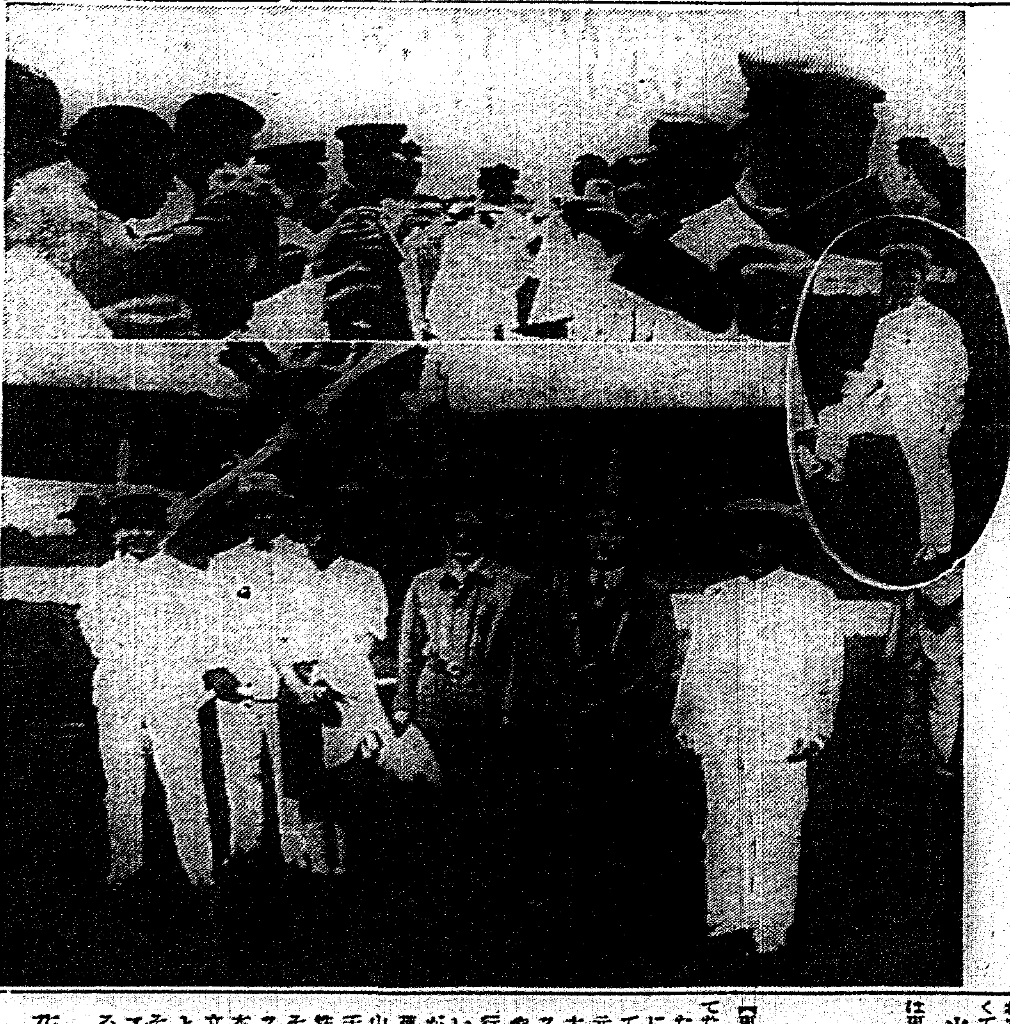
臺北飛行場より臺灣島内定期航空開始の歷史的盛事を祝福すべくスーパー機に搭乘した、淺香日本航空臺北支所長に本社河村社長より日下臺中州知事、脇田臺中市長、松岡臺南新報社長、宮内臺南州知事、藤田臺南市長、松尾高雄市長、高橋高雄新報社長に宛てたメツセーヂを託したがその内容は次の通りである

臺灣島内の定期航空が本日より實施を見るに方り臺北市と貴市とが短時間を以て空より連絡し得る日が可能となるに至りたる次第の大事實に對し茲に衷心より祝意を表し[illegible]る御同慶の念を表明致します。是れ洵に現代の驚異であり併せて文化發展の衿りとも申すべく殊に今回の島内航空を機緣として民間航空熱の高潮を將來に期待し得べく現下の時局より觀て一段と意義深きものあるを痛感いたします、茲に御挨拶の意を表すると共に航空第一便に托し聊かに敬意を表する次第であります

昭和十一年八月二日 臺灣日日新報社 河村徹

スーパー機 臺中で待機 高雄の天候不良

臺北を出發したスーパー機JーBATOは臺中市民の熱狂的歡迎裡に同日午前十時十二分臺中飛行場に到着したが高雄の天候惡く十米位の强風が吹いてゐるため同所で天候の回復を待つて出發すべく目下待機中である



寫眞 （上）搭乘者を中心に赤酒の乾杯（下）記念撮影（右）スーパー機に乘り込む戶水遞信部長

最初にプランをたてた拓相の喜び

【東京一日發】最初にプランを立てた永田拓相は大喜びで語る

たうとう日本ときまつたか、實に愉快だ、私が東京市長をやつてゐた大正九年の頃來るべき紀元二千六百年記念として東京に大博覽會を開き同時にオリムピツクを招聘しようと考へた、ちやうど山本忠興君が歐米視察につくといふので各國を視察のついでに果して東京に引張ることが出來るものかどうか打診して貰ひたいと賴んでやつたものだ山本君が歸つての話では紀元二千六百年には東京に引張る可能性があるといふ話であつたのでそれ以來といふものはオリムピツクに出場する選手や委員が日本に立寄つた場合には彼は是非東京市長として大いに歡待したものだ、その人達とは今でも每年クリスマス・カードの交換をやつてゐるよ

光輝あ る第十二回大會は東京に開かれることとなつた、時は恰も[illegible]、副島兩氏を取卷き感激に滿ちた堅い握手が交はされた、時に午後六時四十三分、斯くて

右の三十六票の中には濠洲かセトラー總督の指令に基き一票を投じ又た支那も大會をアジアへの念願から東京へ投票してゐるのなど、開催地決定を繞る外交的動きとして興味を殘される所である

花月の女將に 三年を求刑

嫉妬から夫の情婦に鋸刀で斬つけた北投花月の女將奧田サノにかかる殺人未遂事件の第一回公判は一日午前九時から臺北地方法院で開廷、合議部公判廷に於て開廷、全島に話題を提供した事件だけに傍聽席は花柳界の人々を始め老若男女で埋められ、山[illegible]裁判長、[illegible]陪席判事[illegible]檢察官立會の下に事實審理の後[illegible]檢察官の論告に入り懲役三年を求刑、次で[illegible]辯護人の辯論あり午後[illegible]時閉廷した

この日被告サノは前非を悔い涙の陳述をなしたがその哀切の樣には滿廷の同情を惹いた、判決言渡は來る八日午前十時

傷害犯人二名 南署員が逮捕

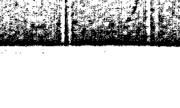
既報三十一日夕刻第二水門附近の傷害事件に付き南署では[illegible]臺北全市に非常線を張り共犯を搜査中一日午前五時半頃新富町の街路上で新富町派出所[illegible]が警戒中新聞紙に包んだ[illegible]を小脇に抱へた二人の男を認め[illegible]を云はさず捕へて取調べの結果本町四ノ一[illegible]及び入船町三ノ二〇[illegible]で前夜の兇行を直ちに自白した、原因は[illegible]であるが[illegible]による無[illegible]の喧嘩らしい、[illegible]醫院で加療中の被害者は其後良好である

動物園の夜間開場 明晩限り

圓山動物園の夜間開場は、[illegible]來臺北市民で[illegible]てゐるがいよく二日で終了することとなつた、今一日は午後六時から午後十時まで仕掛花火、活動寫眞[illegible]等の[illegible]催し物がある筈である

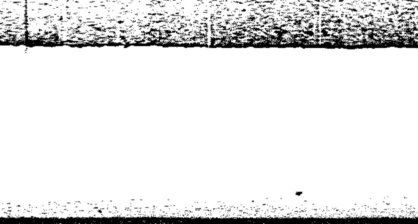
あすの天氣 （臺北測候所發表）
臺北地方 南東の和風晴後雨
北部一區 南東の和風晴後雨
東部二區 南の和風晴後曇雨
西部二區 南の和風晴後雨
南部二區 南の弱風晴時々雨

潮汐 二日
基隆 滿潮 午前 六・〇〇 午後 六・二〇 干潮 午前 〇・三五 午後 一・〇五
淡水 滿潮 午前 一〇・〇〇 午後 一一・二〇 干潮 午前 四・〇〇 午後 四・五〇



（[illegible]）[illegible]八時[illegible]豫定（一）

書籍 常用語辭典 臺北市榮町三ノ一 新高堂書店
醫院 小林醫院（入院設備） 臺北大和町 內科 小兒科
內地土産 パインアップル 桐田商會
桐田の冷西瓜
菓子商 三共舍 臺北市榮町四丁目
小菊饅頭 臺北市兒玉町三
葬儀 高橋輯五



運命の姓名の鑑定に安
土地家屋
電話賣買
特許 商標
洋服ダンス
平戶の醬味噌
玄米精乳と牛乳
みどり院
冷西瓜冷ビール
九官鳥目白
秋蒔種子
軍犬
中央アパート
臺北種苗園
コークス販賣
バイオリン尺八
ハッピー一圓
慢性病電氣治療
メガネ專門 日光堂
生そば丼物丸金
氷 八州庵のみつ豆
愉快な船下り
生そば 黃金京町店
大衆食堂
オリエンタル
新カメラ

紙衣祖師（172）

（第十七回）吉川英治 作　山村耕花 畫

東國篇

柳と菩提樹（二）

平太郎は、獨り合點に、
「アア分つた」
と、胸のうちで呟いた。
「けふはめでたい御影堂の落慶と共に入佛供養といふ、この村開まつて以來の日だ。……それで、お吉の死骸を、寺の衆があわてて始末して、御堂が穢れたなんてことを、そつと隱してゐるにちがひない」
と自分勝手に解釋をきめると平太郎は、何だか不安心でもあるし、安心したやうな氣もして來た。
（驚いてゐろ？　口を裂いてゐろ！）
と、彼は自分へつくづく云つて聞かせた。
刹那に、跪りの者が、一齊にべたべたと大地へ平伏し始めたので平太郎もあわてて跪つた。
いや、その跪りばかりでなく、山門から境内の者すべて、一人として、立つてゐる者がなくなつたのである。寶の風に伏すやうに、すべての人々が、頭を下げ、やがて、讃ぎ出された梵唄の聲と共に、しいんとした靜寂が見舞つた。
「……親鸞さまぢや」
「……お上人様ぢや」
ひそかな囁きに、平太郎はそつと首をのばして本堂のはうを見た。
その時、本堂の内では今しも宮村の寺院から移された觀光寺如來の御分身が、金色厨子の内ふかく納められ、導師親鸞がおごそかな讀經を終つてゐるところだつた。
「——やつ！」
突然、から頓狂なさけび聲を揚げて、平太郎は、すべての人が頭を下げてゐる中から、たつた一人躍り出したやうに飛び上つた。
導師親鸞の人々のそばには、大勢の御弟子たちが侍いてゐたが、その中に——親鸞のすぐうしろに、假粧の女すがたが、ただ一人交つてゐるのであつた。
「お吉だつ。……おお吉にちがひねえつ」
彼はふらふらと歩き出したが、すぐ群衆に阻ばまれて群衆の中へ仆れた。
「なんぢや、この男は」
「狂暴な！」
「氣が狂うてか」
「酔狂ちやろ」
人々から罵を浴びせられて、平太郎はハッと思つた。
（氣のせいだ）
何で、お吉が生きてゐるはずがない。しかも、國主、城主、侍衆などの居ならんでゐる本堂の上に親鸞の側近くに侍いてゐるわけなどが絶對にない。
（しまつた……自分で自分の罪を口走るやうなものだ）
彼は、恐る恐る、人の後へかくれ込んだ。然し、どうしてもまだ氣にかかるのであつた。又ぞろと首を擡げて——覗と氣を落着けて——本堂のはうを窺つた。
親鸞のすがたの前に、やはりお吉の姿が明かに見えるのである。導師親鸞は、式事をすまして、中央に坐つてゐた。お吉はうしろのはうに、脇手をひたとつかへてゐる。
國司と親鸞とのあひだに、何か語が交されてゐるらしい。お吉も時々、恐る恐る顔をあげて、親鸞のうしろで答へてゐるかのやうに見えた。
「生きてるっ——。おう、おう、お吉っ。——お吉ぢやあねえか」
憑き物でもしたやうに、平太郎は両手をあげて又狂つた。もうこんどは止まらなかつた。群衆の頭の上を踏みつけて、本堂の階段のはうへ無二無三、近づいてゆくと、前後もわすれて、
「女房っ、女房っ」

呟きながら、そこを駈け寄つてしまつた。
「不埒者っ」
國司に召連れてゐる臘部の家來たちがいちどに立ち上り、群衆もこの異樣な狼藉者に、わつと、驚いて立ちくづれた。
「ま！　おまへ様は」
お吉は、眞つ蒼になつて、絶叫した。
平太郎は、群衆へ何か告げ知らせたいやうな手振りで、
「生きてゐたつ、生きてゐたつ——」
と、さけびつづけた。
「ひかへろ！」
飛びかかつて來た侍は、左右から彼の肘ひきはる腕をつかまへて引き据ゑた。鷹木権之助と鷹木大藏の二人であつた。
「言語道斷な奴めが」
「お場所柄をわきまへぬか」
と、叱咤して。
「これや平太、いつもの仕事場とはちがふぞ、穿し難い狼藉、けふこそ、その素つ首を打ち落してやるから立てい」
歯がみを引攜ると、平太郎はもう猛犬のやうに身を縮めてゐるだけだつた。
すると、凛として一方から、
「お待ちなされ」
つと、聲がひびいた。
何者が遮るのかと、権之助がふり向いた。法名を乘念房といふ屈強な親鸞の弟子だつたのである。権之助はむのうちで、
（何故止めるのか？）
と、同じ姿すやうな眼を彼へ向けた。
親鸞は、
「上人の御意です」
と、次に云つた。
その一言に、誰もみな默つた。しいんと鳴りをしずめて、彼は上人のはうへ集まつてゐる。親鸞はやがら法衣のたたずまひを改めて
「その者を、これへ」
と、さし招いた。
そこに、彼は初めて、現々と、うはさに聞いてゐた親鸞の姿を眼に見た。
「へ……へイ……」
どうしても、面を上げることができないのである。
「お許が、木匠の平太郎か。わしが宮村の親鸞でおざる。よい折に會つた。おそろしい事は何もない。いやむしろ悦ばしい事すらある」
人の聲か、佛の聲か。
平太郎の耳の奧の襞から諄々と入つて来る上人のことばは、平太郎にとつて救ひであり鞭めでもあり、そして温かつた。
「——お許、ふるへてゐるの。さうか、恐らくは何ぞ勘ちがひしてござるのおやらう。それではその恐怖から先に取り除けてあげよう」
親鸞は、續けて聞かせた。
「今朝方おやつた——まだ夜の明けたばかりの頃、この御堂の角に、不愍や、一人の女房が悶絶してゐる。誰ぞやと手當してやれば、それは宮村の内儀——このお吉どのだつた。お吉さんは、よく宮村のわしの所へも信心に見えられたが良人の心に迷うてはと、ぷつつり、足を止めてゐたのぢや。わしがその折、御名號を書いて與へたが、見ると、今朝気を失うてゐる折も、礪平と、それを懐中に抱いてゐた。——やがて、弟子衆の介抱で、われに囘ると、さめざめ泣いてばかりをる。で——けふの御式の前にと、別室へよび、仔細をつぶさに話してもらひました。平太郎どの、わしが證を立ててもよい。お吉さんは、お許の疑うてゐるやうなそんな女子では決してない。世にもめづらしい佛性の女子ぢや、許してあげてくだされ、そして、これは、愛しんでおやりなされよ」
「……」
「なう、よいか」
「……へ、へイ……」
「お内儀、念のため、良人に疑はれた品、ここへ出して見せてやりなさい」
「はい」
お吉は、摺り寄つて——
「おまへ様……おまへ様は……」
人々の前もわすれて泣き崩れてゐたお吉であつた。鬢の毛にひしがれたやうに首をうつ向けてゐる平太郎の前に、名號をくりひろげて、良人の手をつかみ、良人の恐れとしてゐる疑惑を指り解すやうに云つた。
「わたしが不義をしてゐる——男からの手紙を内密で見てゐると——おまへ様が邪推をまはしたのは、この名號でございまする。……勿體なや上人様のお筆でございますわいな、拜みなされ、良人のひと、これ、よう拜んで、お前様が人殺しの罪に堕ちなかつたお禮をいふてくださんせ」
恐々と、平太郎は、顔を擡げ、名號の文字をじつと見つめた。
「おお……」
「わかりましたか」
「……ウム」
頷いて、初めて彼は、妻の手をにぎり返した。
「……だが、お吉、おらあ何うしても、おめえを手斧で斬つた覺えがあるんだが……何處にも、おめえは怪我をしてゐないか」
「いいえ……。ああわかりました——それではお前様は、御堂の大廂から轟然の角へ下がつてゐる太竹の両端を斬つたのぢや、それが、わたしの身代りになつて、今朝までに二つに斬れてぶらんとしてをりましたが、お坊さんが、供養式の日さはりといふて外しておしまひなされたのぢや」
「……あつ、おやおれが手斧でたたつ斬つたと思つたのに」
「両端ちや、それを、わたしと思うて、勘ちがひしてゐたのでござんせう」
「……ウウム……そ、さうだつたか」
眼の底からうめきながら、平太郎は初めて、人間らしい眼が醒めた心地がした。
すべてが自分の心から映して、心を恐怖させたり、呪はせたりしてゐた醜悪だつた。水に映つてゐた影相の恐い影だつた。
平太郎は、水に返つた。
まだ醒めきつたそれにはなれないが、本來の性が心の底から湧きあがつて、
「すまない……お吉……すまなかつた……」
両手をついて、自分の妻へ云つたのである。
お吉は、夫婦となつてから、初めて良人の口から、こんな眞實の聲を聞いた。
「あれ……勿體ない」
良人の手をすくひ取つて、
「女房に向つて、すむもすまぬもござんせぬ。その謝なら、なぜ、わたしよりも、親鸞さまへ云ふては下さいませぬか」
「？……」
平太郎は、啞のやうに、黙つてしまつた。強情にふくれあがつてゐる顔の筋すぢが、彼の性格の中でありありと苦悶してゐた。
「なう、お聟さま」
お吉は、今こそ、良人の年來の氣もちをここで一轉させようとするのだつた。
「？……」
だが、平太郎は、うなづかなかつた。
じつと、押し黙つてゐる。強情な一徹な氣性を、さながら二つの拳にあはして、膝にかためたまま、黙つてゐる。
「なう……」
お吉のやさしい耳元のささやきにも答へないで。
前には、上人がゐる。弟子たちがゐる。又、城主、郷司、その臣下、そして、集まつてゐる無數の民衆がゐる。
そのすべてが、佛の信仰者である。けれど、平太郎にはまだ、
（ウム）
と、素直に云へないらしい。
なぜ。
それを平太郎は今、あたりの人人に聞つて口に云へないらしかつたが、彼の氣持をもし率直に云はせるならば、
（佛なんて無い）
と自分に教へたのに、佛に仕へる人であり、
（神も無い）
と、自分の頭腦へしみこませた人も、又、神に仕へる人だつたのである。
彼が、お吉との間にまうけた愛兒は、無い神をあるやうに見せ、無い佛をあるやうに祀したから、死なしてしまつたのだとおへてゐた。
いいかげんな修驗だの、さういふ顔の者に似た山伏だの、さういふ顔の者に敎仰へ導かれて、彼は、たつた一人の可愛い子を死なす爲に、夫婦して、食べる物も食べず、著る物も著ず、暖い衣さ、ささやかな貯へを、みんなそれ等の祈禱料だの何だのに捧げてしまつたのである。
そのあげく、子は死んだ。
お神札だの、お水だの、佛具だの、何だの、すべてそれは彼の眼に忌はしく見える物で、一抱へも持つて行つて、淵川へ芥のやうに打ちすててしまつた時に、平太郎に、
「——実はかしやアがる。これで神が中てられるものなら中ててみろ」
と、天へ向つて罵つた。
それからは、
（神だと、佛だと、ふん……）
彼の性格は、又、急に、さうなつてしまつた。
諸事にだつて、彼は、さう僻してゐることでは、退かずに云ひ張つたものである。——だが、親鸞だけは、先刻から、何となくべつものやうな氣はしてゐた。

告丸一行の東京出發　日蓄歌手告丸（中央）リーガル千太（右）リーガル萬吉（左）の一行はJFAKの夏季サービスに出演のため東京を出發し、八月一日來臺した（寫眞は一行の東京出發の景）

次の夕刊小說

御殿女中

邦枝完二 作　神保朋世 畫

吉川英治氏の「紙衣祖師」は現代婦人の傑寄を掲き盡して、いよいよ近く大團圓を告げますので、引續き現文壇の寵兒、邦枝完二氏の力作『御殿女中』を掲載致します。氏は江戸情緒ものを最も得意とする作家、ここに多年秘藏の題材を選び來つて、七彩絢爛眼を奪ふ大奥の物語を展開しようと云ふのです。挿繪は浮世繪風の纖細華麗な線を謳はれる神保朋世畫伯が、非常な意氣込で彩筆を揮ひます。邦枝・神保の名コンビによる豪華無比の愛欲繪卷、掲載の日を切に御期待下さい

邦枝完二氏　神保朋世氏

作者の言葉

邦枝完二

お前は何が最も得意かと訊かれれば、わたしはやはり「江戸時代の世話物を描くことが多少得意でもあり、同時に愉快に筆を進められる」と答へるに躊躇しません。それはわたしが祖先からの所謂江戸つ子であるのに因るのでせうが、また一つには德川幕府が政治を執つてゐた江戸といふ一區劃した時代には、實に種々な以上の奇しき事實が存在してゐたがためであります。殊に世間から謎の生活とされてゐた大奥の女中達、即ち御殿女中が如何なるその日その日を送つてゐたかといふことは、正に昭和の今日に於ても立派な一つの謎となつてゐて、讀者諸氏の好奇心をそそらずには置かぬであらうと思ひます。……今回執筆する「御殿女中」は、彼女等の情實と愛慾生活の全部を忌憚なく拉し來つて、江戸の大奥と町方の關係を十分描いて見る考へです。幸に御愛讀の程を。

挿繪について

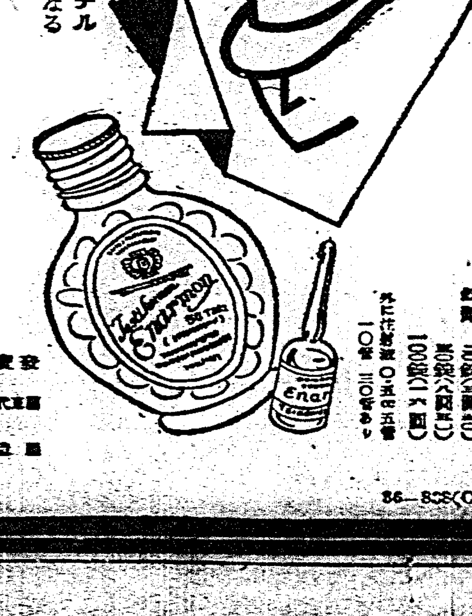
神保朋世

完二先生の鑑賞たくひなき作品に、どれだけ添つてゆかれるか、全身を打ちこんで執筆するつもりです。風俗をかまはず文化文政の、江戸文化爛熟期に據りて、思ふさま江戸時代の情緒を描いて見んものと、大いに樂しみにしてをります。

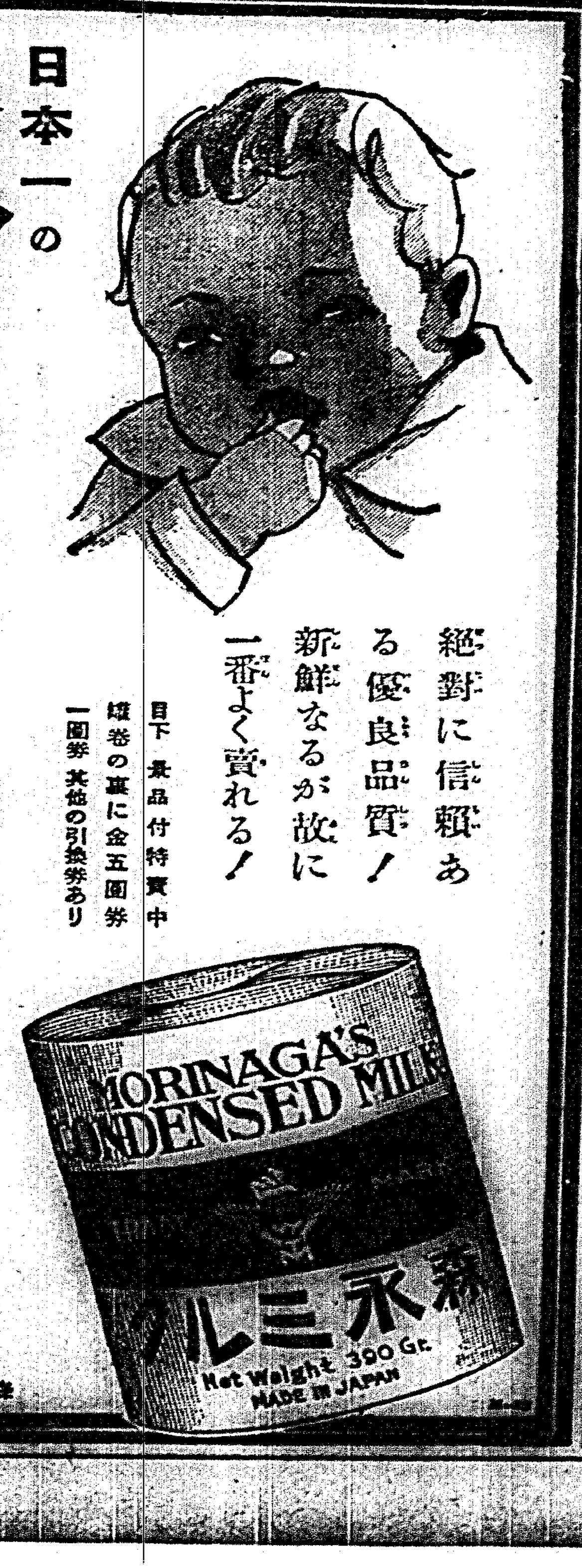
（挿繪は御殿女中）

雜誌紹介

▲婦人倶樂部（八月號）一流人氣スター實演『流行歌劇・現代大毀損』で卷頭を飾り本文には國政一新と家庭關係（鶴見祐輔）大村新治郎への前例（菊池寛）オリムピック花形選手の異色訪問（本誌記者）不遇の老人に此の世で楽園岩崎さんの人間愛物語（生田花世）前の道を越えて黑田雅子さんの結婚行進曲、夏の日に燃ゆる愛、水久保澄子さんが國際結婚（中村正常）寄野芳子孃の苦闘物語（北村喜夫）日本海上の現の島、おけさの佐渡を語る座談會、すぐ覺えられるパラソル利用の婦人護身術（日露龍介）及評判の實用記事いろいろを滿載してゐる。連載小說『合歡の並木』（加藤武雄）『母の曲』（吉屋信子）『新月抄』（久米正雄）等も佳境に入つてゐる。附錄に『六大重寶傑作色紙』と『西洋美容法』（定價五十錢東京市小石川區音羽町三ノ十九大日本雄辯會講談社）
▲俳句研究（八月號）石田[illegible]風生、茅舍等九氏の『花百九十入集』現代詩の問題（小林秀雄）『文學への要求』[illegible]



今日は頭が重い、ボンヤリする。讀書や裁縫が進まぬこんな時にノーシンを



古池や芭蕉は 頭の榮養劑 はれやかのんでから

あせもたゞれに 六一〇ハップ
皮膚病 婦人病 動脈硬化 神經痛 打ち身 突きに
各藥店ニアリ

キユーピー マヨネーズ
不意の御來客に 毎日の御食膳に

ラッパ印 かとり線香 殺虫液

ミツワ殺蟲液 母の手の慈愛の様な

最高純植物性新發賣
太い細いよりい、毛を…。
太くても艶のない、ばさつとした、棕梠箒のやうなのは、非文明な氣がする。
ポマード ネオ
65セン
伊東化學新研究所

東京遂得制勝
次期夏季大會開之 國際競技委員會決

伯林三十一日發同盟至急報。三十一日國際競技委員會。一九四〇年次期第十二回國際競技大會夏季大會。以三十六票對二十七票。決定開於東京云。

國民諸君。後援所賜。是所感謝云云。

宜使大會最有意義 廣田首相談

東京一日電。國際競技決定開之東京。廣田首相。談話如左。

第十二回國際競技大會決定開之東京之事。一接通報。實所欣快。此回我國關係者之努力甚多。然可解爲世界各國對我國。理解究正之結果。歲是本懷。夫大會之開。恰在我皇紀二千六百年。我國特堪紀念之年。切望我國民。宜使大會。最有意義。大實我國民體育之向上。拉將我國民性之長處。發揚於世界。永遠記念此皇紀也云々。

冬季競技 臨兩委員會議 遂得勝利

伯林三十一日電。國際競技委員總會。第三日三十一日午前會議終。拉珠爾委員長。以下各國委員。出席。體育長官招待午餐會。席上我嘉納委員。與副島委員等。談。結果日本此際以冬季競技。一完全拋棄爲得策。午後三時十分歸到宿所。嘉納副島兩委員。始首協議。結果正式決定。以入午後議場云。

夏冬兩季 競技分離 開催地決定延

伯林三十一日電。國際競技委員總會。三十日午後合議結果。決定將夏季競技與冬季競技。分離開催之地。三十日夜。發表聲明書。並與諾威。加奈陀兩國當呼應。候補爲冬季競技開催地。聲明書如左。

次期國際競技大會冬季競技組織。至一九三七年々延期決定。

決定東京 微笑感激 兩委員交語

伯林三十一日電。次回國際競技大會。決定開之東京也。昨年竭力。如副島嘉納兩委員。沈默中。一時微笑。自會場而現。平沼團長諸人迎之。兩委員感激。交語如左。

此事決定。感激而已耳。在伯林諸人。及遠在祖國諸人。如所待此結果。吾人思之。國民的感激不覺熱於胸中。全日本

意空軍三機 飛入西境地帶 助革命軍敗

拉巴特法領摩洛哥三十一日發同盟。意國空軍三機三十日飛入西班牙領摩洛哥國境地帶上空。其中一機墜落。三名慘死。二名重傷。皆爲將校下士官。他一機到倫耶河口。又一機。兩機故障。入西班牙領摩洛哥。究竟皆有爆彈投下裝置。機關砲四門。稱援助革命軍云。

他國支持革軍 法將援西政府 斷然決意

巴里三十一日電。西班牙內亂。於國粹獨裁政權。與左翼人民戰線。對立之歐洲之國際政局。異常不安。意大利政府。支持國粹革命軍。法國政府。亦大決意。意軍飛行機數臺。赴西班牙領摩洛哥革命軍根據地。離安途中。現已不時着陸。法國政府。欲之以上報道。意國援助革命軍。事實既定。法國外相。去三十夜。在下院外交委員會席上。斷然披瀝決意。聲言如左。

西班牙內亂。法國政府堅持不干涉政策。他國若支持革命軍。法國政府。或對馬德里政府。供給武器。

究此決意一明。法國政府第一段處置。先強革命軍傳簡占將軍。履行一九一二年法西間成立之條約。要求如左。

一、土民武裝停止。

一、在西班牙領摩洛哥。對第三國。不與特殊便宜。

移駐廣東 陳飛行部長 對桂作戰

廣東三十一日電。中央空軍陳慶雲氏。近援指揮廳下第十隊。移駐廣東。日下集當地空軍。合第十隊即第九、第十二、第十三隊。可三十四機。大部分爲爆擊機。將對廣西作戰云。

馬公防護演習 敵機盛投下爆彈等 各機關皆緊張警戒

澎湖廳防護團長福元廳長。去三十一日下午一時。接馬公防護團長。指揮馬公和田馬公司令官命令。謂有敵之優勢空軍。欲空襲馬公。爲是福元團長。急命馬公街防護團。在郷軍人待戒。而重砲兵聯隊。由吉庄中尉指揮。于澎湖廳附近各地。設高射砲陣地待機中。而防備軍飛行機。曾用出動。極呈緊張。至下午五時。報知空襲。未幾優勢之敵機三、四架。曾用空襲馬公。對此重砲兵聯隊之高射砲隊。發砲擊退。在郷軍人隊等。一齊應戰。飛機盛投下爆彈。燒夷彈。毒瓦斯彈。三浦防護團。與消防組協力。演習防火。防毒其他。而馬公要港部艦船其他各部隊。皆相當協力。緊張演習。至下午六時半。此壯烈之防空演習完了也。

中瀨局長 四日離京

東京三十一日本社特電。視爲鑛問題之臺拓會社。正副創立委員長以下創立委員八十一名。業于昨日

加藤中將率第二艦隊
威風堂々入馬公港 馬公街民歡迎氣分橫溢

我無敵第二艦隊。由加藤中將引率。去三十一日下午六時。乘風破浪。威風堂々。入馬公港。受馬公官民多數歡呼。繫留于所定位置。福元廳長。三浦街長。暨陸海軍關係官員到艦訪問加藤中將敍禮。而廳當局。于水上署附近建一大歡迎門。並對水兵將兵落花生其他。並修理港底鄉一帶道路。以便乘組員。視察良文港里正角混成枝隊上陸紀念碑。又街內各泳場無料開放。並在松島紀念館。招待准士官開歡迎會。各戶齊揭國旗。歡迎之氣分橫溢。

一萬一千名云。

第二艦隊 來六日抵臺

加藤提督麾下第二艦隊。艦艇二十九隻。訂來八月六日。舳艫相接。入高雄港。高雄市當局。就其歡迎方法。已有種々準備。又該隊將士。准士官以上約八百五十名。下士官兵

臺灣芭蕉少到 內地價騰

神戶航空便。稱阪神芭蕉總平均合恭。落至二圓臺後。因價賤。高雄蕉不來貨遂告缺。朝日丸所配。在神戶總平均三圓八十三錢。臺中蕉約起五十錢云。

溪湖二林間 電線故障 經二時餘復舊

去七月三十一日午後五時。員林郡溪湖至二林間之電力會社送電線。突生故障。致對二林。大城。沙山方面。不能送電。即由溪湖、二林兩派出所員開始活動。發見在濁水溪南方高線。有破壞之處。着手修繕。八時頃復舊。八時二十分送電云。

臺北市官民合同 第一艦隊歡迎會 高橋司令長官謝詞

臺北市官民合同主催第一艦隊歡迎會。三十一日午後二時半。開于梅屋敷。招待高橋司令長官以下約五百(准士官以上)。平塚長官。荻洲參謀長。其他有力官民三百餘名出席。首由樂師助役開會詞。次松岡市尹代表主催者述歡迎詞。高橋司令長官謝詞如左。

我聯合艦隊。爲對我國經濟的前進根據地之臺灣。深加認識。親接此地風物。以資乘組員實際的訓練。且欲使臺灣官民。對海上國防。深有認識。而訪問當地。茲受熱誠歡迎。不勝感謝之至。顧觀世界大勢。俱不容我國之偸安。際此國際危機。而負有安定東洋平和勢力之我國責任。重且大也。

蓋日本國民。須以一致對天職邁進。以處國難。艦隊猛烈訓練。要爲處于難局。欲使國運發展。及國民之意氣徹底發揚。最後望臺灣官民。共同一致。突破一切難關。而對我國使命邁進遂行之也。

由是有藝妓餘興。握開提燈店。一同講喫麥酒。宴酣。平塚長官起爲三唱第一艦隊萬歲。第二戰隊司令官原中將。三唱臺北市萬歲。一同和之。午後四時半散會。

總督官邸 晚餐盛宴

三十一日午後六時半。總督官邸。招待高橋聯合艦隊司令長官。外幹部。由中川總督主開盛大晚餐會。柳川軍司令官。荻洲參謀長。岩松守備隊司令官。各部局長。今川知事。松岡市尹。三好。能澤。近藤諸氏爲陪賓。各盡歡而散。

海軍飛機 飛到花蓮港

第一艦隊航空母艦鳳翔。加賀兩艦。所有海軍機四十一機。去三十一日午前七時二十分。由艦上飛到花蓮港。有旋回飛行。編隊飛行等。頗受官民歡呼。但其中一臺。機體故障。在加禮灣不時着。修繕後再離陸。參加該隊。歸還母艦云。

新竹鄭神寶氏 爲阿片案 已被收監

既報新竹警察署。關於阿片密吸及買賣變造等。所謂新竹阿片令違反事件。去七月二十七日。檢察州協議會員何友家氏等數名押送臺北地方法院檢察局新竹支部。嚴重發究。已得證據若類。而元府許鄭神寶氏。自本年五月六日以來。在新竹醫院療養中。亦似與該事件有關係。于前月二十二日。在該院第二病棟一號室。被新竹署田邊司法主任。暨二刑事。來同行至醫院。然後嚴重查問後。許北醫院擴發。去二十三日。內田檢察官代理某氏。再到新竹醫院面晤河東內科醫長。詳詢鄭氏病狀。乃于三十一日午後零時五十分。喚到檢察局。受內田檢察官查問後。于是日午後四時四十五分。由警察官護衛。乘朝日喚客自動車。押送入新竹刑務所收容云。

臺中島人教員 國語常用 家族座談

臺中州當局。爲設置國語家。制度前提。以各市郡爲單位。於夏期休暇中。主開本島人教員家族座談會。而臺中市役所。于去三十一日午後一時半。開于臺中市民館。有藤田市尹。齊近藤教育課長。及錄日家政女校長保員。市內小公學長。本島人教員與其家族等。五十餘名出席。就國語常用。生活改善等。種々開陳意見。午後四時散會。

鶯歌協議會 原案可決 續開部振懇談

海山郡鶯歌庄。去七月二十九日午前九時起。在該役場構內公會堂。開第三回庄協議會。是日協議員。出席者十五名。缺席者一名。定刻依例進行。諮問事項有四。即一爲樹林公學校公務室移築所關。二、昭和十一年度鶯歌庄歲入歲出追加豫算所關。三、庄基本財產管理條例廢止。四、庄基本財產管理規程制定。由議長及參與員說明畢。有陳義方氏質問繰越金。得追加豫算二千三百圓之多。其理由內容如何。經聞其詳。時議長答以待日後決算明白。自當報告。又有起述近見樹林公學校校舍建築材料。均見佳良。破毀可惜何不保存。充爲教具置場而事務室。另行建築。議長答以爲校舍分布管理上所關。以此爲安。繼有呂石頭氏等。可陳一三宗望。終照原案可決。次大川郡守訓示後。宣告閉會。小憩。至十一時頃。續開部落振興懇談會云。

島內定期航空實施
一日就初飛行之途 關係官員集合舉祝杯

五百萬島民久待之島內定期航空。月一日實施。有戶水遞信部長。度谷航空係長。佐倉航空官。淺香日空臺北支所長。武田同營業所主任。各日刊新聞擔當記者多數。集于斯巴機前。與石上。諏訪兩操縱者。舉杯。祝上北途。未幾機離陸。旋迴上空。撒布宣傳單一萬枚。表敬意於臺南市民。而在臺中。臺南高雄各都市。亦撒布二萬枚。大舉航空氣勢。又三日之臺北。花蓮港間。亦于宜蘭花蓮港上空。撒布同樣宣傳單。

本社長書信 寄臺中高雄

本社爲祝島內定期航空開始之劃期的祭事。由我香日空臺北支所長携帶本社長。寄與各都市航空協諸氏之書信。乘斯巴機出發。

▲臺中 日下知事。脇田市尹。松岡新高新聞社長

▲高雄 內海知事。松尾市尹。高橋高雄新報社長

航空東部線 慣熟飛行 三日起實施

島內定期航空東部線。訂來三日起。開始慣熟飛行。日本空輸會社江塲花蓮港出張所主任。經已發任。從速整備一切。而加禮灣飛行場。將建格納庫及事務所。其。然位置。已得軍部許可。大體內定。擬俟來七日。由臺灣軍參謀服部中佐。蒞視察後。興工。豫定九月末竣工。而此間欲建草創格納庫代用。又來三日初飛行。花蓮港街當局。欲開歡迎會由藤村廳長。及宮崎街長。對操縱士及機關士。贈呈花環云。

基隆市官民五百名 海上提燈行列 內外港變成歡迎火海

基隆市。爲歡迎海軍。並總務水兵。去三十一日夜七時。舉海上提燈行列。及市役所小汽艇沖津號。各官衙會社所有小汽艇十五隻。先集于出發處之旭丸。有官民聯合者五百名。各執提燈。以沖津號當先。由市勸業課員指揮。一列縱隊。一巡各艦隊之後。大呼萬歲。至于港口。對投錨于港外之長門、等三戰艦。二航空母艦。乘燈呼萬歲。表敬意。而港內外各艦。一齊放探照燈。光線照耀空中。全市變成白晝。極呈壯觀。而市內水兵。充滿各路大呈混雜云。

基隆市民 歡迎海軍

既報。我帝國無敵艦隊。第一艦隊艦艇三十六隻。去三十一日午前中。全部入基隆港。未幾艦載飛行機。四十餘機。編隊飛翔上空。基隆港一時變爲軍港氣分。下午乘組員上陸市中水兵接踵。市民齊揭海軍旗。仙洞山上。高築電氣燈。驛前設歡迎門。以表歡迎。又市民多設休憩所。準備涼茶款待。顏家庭園開放。許梓桑氏適園。亦多登上遊覽。基隆同風會。總商會。旭高會各設休憩所等。各表歡迎之意云。

受保甲褒揚 助捕犯人

嘉義郡大林庄林子前保正許德力。年三十八。蔡天送年四十四。右兩氏於去七月五日。會幫助警官在庄中林溝背間。勇敢逮

炭商行詐 到板橋街賤售 貪買者受愚

數日來。有四。一行數名以後拖車。運炭入海山郡板橋街及後埔。說云此炭由土城庄清水坑炭礦之初柱炭。因礦主經營失敗。將坑內之炭柱。全部掘出欲大廉價求售。不信者乞試炭質便知。先于炭窟上置少數之良炭代餌。一部街民試其窟面之炭。果然無訛。而窟內則藏入炭釘皮則選卸無用之炭。每千斤以五圓至六圓售出。街民多有墮其術中。至炊爨內之炭。方知被愚。去三十一日午後五時頃。仍用後拖車。運至板橋郵便局後。被謹兒。欲與同行警察課時。不見蹤影。該漢至六時許。窺見無人看守方挽至後埔。皆以同樣手段詐欺。再被發見。急將滿載石炭。置在林耀成店騎空地。走脫不知去向。

新竹郡守市尹 視察馬耕

新竹州郡守市尹合議第二日。去三十一日午前八時半。續前日再開。議諸問事項。午前中全部議了。正午借赴新竹郡新庄子。觀察馬耕狀況。乃在南寮濱午餐後解散云。

傷害告訴 警官勸令和解

嘉義市元町四丁目江德源吳服店主人江木。今回告訴同所崇山吳服店主人潘崇山。以傷害罪。即由嘉義署非警部補。召問雙方。勸令和解。關傷害之原因。爲同業相妬。先是江木。對潘崇山之顧客。中傷崇山是非。被崇山偵知。憤慨過問。至於川武江木負重傷出訴。去三十日夕刻。該管區山岡巡查部長。及保甲聯合會長吳鴻泉氏。出爲斡旋。將關係者招至東門町派出所勸和。双方亦均理解。經取下告訴。圓滿解決云。

用刀傷人 出獄後被毆

嘉義市元町三丁目無賴漢蔡長祝。年二十三。去三十一日午前十一時半。至市北門町三丁目陳百福同所德芳吳服店前。見同年二十四不問是非。開拳便毆百福。百福齒折及重傷。嘉義署後逐張刑事捺報。立至現場。長祝業已逃脫。原因爲百福。昨冬曾以利刃傷害長祝。事在嘉義刑務所。懲役六個月。今回釋放。長祝更出而復仇云。

牛舍失火 斃牛一頭

新豐郡歸仁庄媽祖廟陳金順家之牛舍。去三十晚九時許。遽宣火警。庄民及壯丁團員。恐釀大禍。急出援救。約經半時始熄。其失火原因。保正爲護牛畜。焚火驅蚊。而已以罹目疾故。遂火星而不知。遂致發火。損失約百金云。

廿一歲青年 何苦吃鴉

臺南市東門町一丁目黃朝年方二十一。染阿芙蓉癖近隣均知。事被壽町警官派出所員稻富。沈所聞。去三十一朝。前赴其家。搜出煙具諸物。追問之餘。供係本年五月起。向賭婦郭林婦購者。乃爲發在案云。

成爲當局嚴重取締。以戒將來云。

蘇澳築港問題報告 開於宜蘭街公會堂 蘭陽十街庄長來會

既報蘭陽三郡下住民。爲國產業發展。並國防上安全。多年懸案之蘇澳築港問題。爲促進其實現。於本年六月二十九日。在南方澳街水浴場。有田中宜蘭郡守。小野田羅東郡守。小島蘇澳郡守。山瀨及黃州協。並蘭陽三郡下十街庄長列席。先開懇談會。建議此後具體的進行方策。附議結果。一任小辻蘇澳庄長。再調查經濟上之價値。日前經已調査告畢。於去三十日午後一時。在宜蘭街公會堂。開蘭陽三郡下十街庄長會議。而小辻蘇澳庄長。在同席上報告該調查書之狀況。略謂昭和七年。督府當局。派技術員。實地踏查之時蘭陽三郡下。重要產物。在蘇澳。直運輸于內地各方面。不過三十萬噸。然迄今經過五百年。因蘭陽三郡下。產業方面發展。即製糖會社。製紙會社。採礦石會社。製材工場。水產會社等。設出如雨後筍。認此後。要直接配于內地方面。一躍似有六、七十萬噸。是故比昭和七年當時。經濟方面。事情大異。其他爲促進實現。最近日中。欲派陳情委員四名。對臺北州及督府當局要路。出以積極的運動。而地方民。亦皆期待其及早實現之也。

嘉義 先行注意

嘉義署。因第二艦隊加藤司令長官一行。將于八月六日到嘉。乃先召集市內有關係營業者。及從業員。在警察署會議室。加以一番注意。七月三十一日午前十時。市內一般旅館料理珈琲店貸座敷之從業者。計八十名。同日午後一時。內地人之藝妓女酌婦仲居女中。計百二十名。同日午後一時之藝妓女酌婦仲居女中。計百四十名等云。

組保護會

嘉義市當局。曾數次與本田刑事所長協議。設立釋放者保護會。然該會之設立。一個年經費。豫算五百圓。收入方法。借活動寫眞上映收益。而事務所。則設置在市教育課。近將開設立會云。

出發赴試

嘉義農選代表。赴中學全國中等學校野球爭霸戰。本年嘉

羅東 講師講習

羅東郡教化聯合會主催之國語講習所講師講習會。自去月二十七日。開于羅東女子公學校。而講師及職員會員。與講熱心講習。預定于本月三十一日午後四時。在利澤公學校舉行開講式。當日有郡守。郡下小公學校長。及國語講習所講師等多數列席。定刻安井郡屬宣布開式。次臺拜神宮遙拜。國歌合唱。次大小野庄長。指示講習生。式畢。來賓祝辭。而終了會員有三十五名。至午後四時半。盛況裡閉式。

代表選定

開第十參加本社主催之全島都市自轉車競技大會。而羅東郡爲代表參加。然羅東街振興會自轉車店。陳阿榮氏。爲後援該選手。購入競技會用自轉車三輛。提供于選手練習。而選手陳阿欽(年二十六)。林義川(年二十二)。陳阿火(年二十二)。張添樹氏。及李清旅(年二十一)。爲保國自轉車之列團出場。又對個人競技種目。在羅東公學校運動場。猛烈訓練。每日參加一萬米。其他陳。林。及李諸氏。出場二千米。其他選手。爲臨戰選手之便宜。及開競技會之日。援助選手之名。組織後援團。以羅東街長凡二十餘氏發起。

全島國旗勝國代表。定本二日夜行列車出發。

會事

▲海山郡板橋公學校女子部卒業生同窓會。訂本二日午後一時。開于板橋公會堂。會費每人金十錢。即日持參。

▲員林郡當局。訂來八月三日招集郡下島人教員。並其家族全部。在員林公學校講堂。開國語常用。生活改善爲中心問題座談會。

人事

▲高雄市勝裕記商行主。謝清桐氏之令正顏氏罹人。去二十六日。在其本府地。七星郡內湖逝去。享年五十有六。葬期未定。

商況(一日)

正米市況前場

	上	中	下
▲一期蓬萊米	一〇、五四	一〇、五五	一〇、五七
▲一期在來米	一七	一〇	[illegible]

大阪期米前場

[illegible]	[illegible]

東京期米前場

[illegible]	[illegible]

神戶期米前場

[illegible]	[illegible]

大阪短期前場(株式)

[illegible]	[illegible]

大阪長期前場

[illegible]	[illegible]

東京短期前場

[illegible]	[illegible]

東京銀行實株

[illegible]	[illegible]

紐育株式

[illegible]	[illegible]

東京國債前場(公債)

[illegible]	[illegible]

外國爲替相場

[illegible]	[illegible]

神戶對外爲替

[illegible]	[illegible]

シカゴ小麥(穀物)

[illegible]	[illegible]

玖瑪·爪哇(砂糖)

[illegible]	[illegible]

大阪現物

[illegible]	[illegible]

大阪清算

[illegible]	[illegible]

大阪綿絲(銀地)

[illegible]	[illegible]

大阪棉花

[illegible]	[illegible]

大阪人絹

[illegible]	[illegible]

橫濱生絲(絲況)

[illegible]	[illegible]

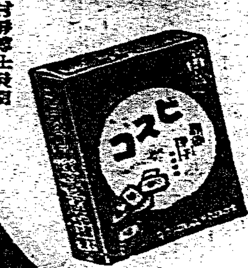
新案漫畫合戰　(29)　チントベラク

臺灣日日新報

酵母菓子

ビスコ

トロット溶けて
身體を創る
輝くオヤツ



十錢

[illegible]

株式會社グリコ（大阪・東京）

B.5

改正臺北市全圖（定價金壹圓）
發賣所　臺灣日日新報社商事課

冷却機械　在庫
前川製作所

頭痛と歯痛に　[illegible]散

國大阪商船出帆

國近海郵船出帆

國大連汽船出帆

東京出版協會　新刊圖書案内

重森三玲著　日本庭園史圖鑑（全二十四卷）
有光社

古館清太郎・廣瀨哲士共著　トルストイ戀愛聖書

若者は戀をするといいとトルストイは言ふ。人々の喜憂を身に生きた彼

羽仁もと子・上澤謙二著　甲子さん太郎さん物語

子供の生活を良くする書の新工夫創意になる物語！子供の生きた生活讀本！
厚生閣

理學博士飯塚啓・外二家共著　動物圖鑑　學生版
北隆館

松波節齋著【新刊】　二宮尊德論語
尊德の心を傳へる本邦唯一の書

文學士山崎謙著【最新刊】　國民精神新論
全國民要望の好著成る

國語の科學會【最新刊】　國語常識寶典
微笑・哄笑・爆笑の裡に正しく文字を知る
東京　苑書房

日本原色鑛物圖譜
本邦唯一、無二の原色鑛物圖譜！　學生諸氏鑛物研究家の一大寶典！
松邑三松堂

文學博士常盤大定著　佛教の精神
大日本圖書

相澤春洋先生著　四體千字文
梅春樵先生閲　書家自在
辰文館

昭和十一年版　電氣年報
電氣新報社

昭和の常識

大教育家ペスタロッチでさへ屋の子守から偉大な影響を受けたとか子守の選擇は育兒上の大關心事

氣温は海拔百米毎に攝氏〇・五五度づゝ遞減す、白頭山頂は二七四四米故、海岸部より十五度低い譯

廐舍の置場所て、日當のよい所は醱酵して更に惡臭を放つから、日陰に置くがよい

銀粒仁丹

仁丹全劑の外に高貴藥人蔘とビタミンBを倍加特製して好評益々加わる

胃腸の増强藥には

健康は先づ胃腸の强壯から、仁丹を常用すれば胃腸の機能を正規的にし榮養を促進して、著しく活潑になり潑剌たる生活力を充溢させる、殊に胃腸病者にとつては欠かせぬ持藥。

口中の芳薫料には

口の臭いのは致命的な品格の破綻となる常に仁丹を口中せられると口邊からは絶へず芳香が漂ひ口熱を去り歯を美しくし口腔の殺菌をして自他共胸に清々とした氣持を享樂する。

傳染病豫防

炎暑を控へて、チフス、コレラと傳染病の猖獗季に入ります、衛生施設に一段の不便あるを認むるに於ては益々各自の自衛豫防の必要を切實に感じる次第です。
仁丹は胃腸を强健にし榮養吸收を充分ならしめ根底から强壯となすを目的としてこれ等傳染菌への抵抗力を養ふにこよなく適切です。

咽喉衛生

夏の本島特有な乾燥し勝ちと、加ふるに猛烈なる塵風に咽喉衛生の不完分から遂には本格的な呼吸器病に犯されると云ふ例が殊に多い、仁丹は先づ口にするや第一にこの咽喉衛生を完全ならしめる藥効を、しかも爽涼感のうちに遺憾なく發揮して衣嚢に、消毒に申分なき懷中必携藥

銀粒仁丹壽價
御試用分（百五十粒）十錢
實用容器附（三百二十粒）二十錢
携帯容器附（四百粒）三十錢
家庭容器入（九百粒）五十錢
御徳用分（一千粒）五十錢
御徳用箱入（二千二百粒）一圓

仁丹本舗・大阪　森下博營業所

東京の勝利は正義の勝利
皇紀二千六百年祭へ多望

一

次回の第十二回國際オリムピック大會開催地として、豫ねて日本の東京と芬蘭のヘルシンキとが共に立ち競ひ争つてゐたが、昭和十一年七月三十一日伯林に開かれた大會に於て、三十六票對二十七票にて東京が勝ち、次期の大會開催地が東京に決定を見たことは帝國の國際的地位の上からも、又國際スポーツの見地からも誠に慶賀至極であつて欣快に堪へない。日本が何故次回大會を東京の地に於て催したいかといふ理由は、今更ここに多言を要しない。今より四年後の昭和十五年即ち一九四〇年は恰も我が紀元二千六百年に相當し、之を記念するため[illegible]的大會の計畫があり、之を機會に輝く日本の姿をスポーツの方面からも世界に示したいとの希望から熱心に東京開催を主張したものであつて、[illegible]の貫徹を見たことは[illegible]。東京の勝利は正義の勝利に外ならない。

二

この度の東京の勝利は諸外國の大會關係者によく認知され、殊に九票の多數で東京が勝つたものと思ふが、更に又伯林より寄るよるに此勝利は[illegible]小國に對する大國の勝利であるとも言ひ得よう。又日本の勢力の伸張に伴ふ東京に對する興味の上昇、水泳競技を初めとして各國スポーツ競技に於ける日本人の著しき出場等々アジアに對する認識の高まり來つた事も確かに此勝利を得るに至つた一因として數ふべきであらう。特に英國が[illegible]同國の意を汲つて立候補を取消し日本支持に努め、米國の大會代表が誓約を守つて東京に投票し、更に伊國の好意、國際[illegible]代表の[illegible]ラツール伯を初めとして[illegible]にスポーツ關係者の集合だけにこくスポーツ精神に終始し此フエア・プレーを見るに至つたものと思ふ。

三

愈々次の大會が東京と決定した以上吾が國民も明朗闊達なるスポーツ精神に徹し日本國民本來の美質を發揮せねばならぬであらう。又恐らく各國の優秀選手の如きも今後は一段と興味を加へ、帝國古來の[illegible]大記錄の續出に努むるであらう。又その事の實現性が著しく可能になつて來たことも事實である。かくして皇紀二千六百年頃を機として世界に輝き、帝國の國運は必ず[illegible]國際スポーツの[illegible]に相伴ふものである事を確信し、東京の勝利を心より祝福するものである。

豫算の査定を前にして
督府當局への希望

一

臺灣總督府明年度豫算の編成は、既に財務局に於て各部局より要求説明の聽取を了し、目下主計課各主任官の手にあつて査定を受けつつあるが、本月中に豫算案を作り九月早々中央政府の方へ提出を急ぐことになつてゐる。各局より要求されてゐる豫算額は新規事業だけで實に二億圓を突破し、先に豫算要求として提出した[illegible]當局として、又在に一般要求として[illegible]的の事業を含み、[illegible]諸要求が數多く解決されんとしてゐる。唯財源關係上の限度に於て、到底之が全部の實現は期せられず、差當り來年度としても査定に於て相當なる削除免れずと思はれるが、今後の査定を[illegible]何は國家的施設に一般島民の福祉に[illegible]の關係を有し刮目さる。

二

査定當局は財政の生命を知り、財政に責任をとるが故に、總計の現狀並に先へ先への見透しにつき慎重論調になりがちである。又要求當局側は自己の割合狹い立場から主張し、何とかその計上決定を得べく百方努力、時には兄弟相鬩むが如き觀い爭奪沙汰も無いではない。然し一面査定當局に對する不滿、言分も頗る尊重すべきである。即ち査定當局が財政上の見地から主張はよいとしても、専門的な事業計畫を理解せず或は認識不足を以てする修正、分割等の強制は經理的技術の末端に囚はれるもので不都合であると言ふにある。所かる議論は元より一部の策ではあるが、財務當局の査定が、計畫の機を失することなしとは言へぬ點で反省すべきであらう。

三

豫算は事業十ケ年計畫及び帝國南進國策に基き劃期的飛躍を致さんとする此際徒らに財源難の故を以て緊急重要施設を遲延せしむることは國家國民のため不利、損失とするところ大である。中央政府は庶政一新の下に增税、公債政策等を總て積極的に進まんとして[illegible]諸制度施設の調査完了せる諸改正實施の好機であり、公債の如きも今日の低金利に乘じて財政より良き伸張を期すべきだら[illegible]財政當局が統計のバランスをの係り之に囚はれては本末顛倒である。よく言ふが「豐かな財政必らずしも良き財政とは言へない」財政當局の手腕といふものはこの間に生かしてゆくことにある。[illegible]府豫算査定の時に當り一言所見を披瀝する。

柳川前軍司令官の告別式

となつた柳川前臺灣軍司令官の告別式は一日午後一時半より軍司令部に於て[illegible]營まれ[illegible]參謀長の告別の辭あつて[illegible]司令官の答辭あり[illegible]官員は告別式)

海軍特別大演習きのふ開幕さる
第四艦隊鹽澤司令長官、行動開始

【東京一日發】本年度海軍特別大演習は愈々八月一日より前哨戰の幕を切つて落される事となり、第四艦隊司令長官鹽澤中將の旗艦[illegible]は[illegible]を率ゐ、直ちに行動を開始した。依つて海軍では同月後一時右に[illegible]官報の形式を以て左の如く發表した

本年度特別大演習は本日開始せられ其の參加部隊中臨時編成の第四艦隊司令長官には鹽澤幸一中將任命せられ同中將は本日旗艦山城に乘艦、佐世保鎭守府司令長官の職務は[illegible]少將が代理する

行掛りを捨て士氣振作に重點
今次異動の特色

【東京二十八日發】寺内陸相の[illegible]は庶政一新と國防充實とともに寺内陸相の三大使命であることを陸相自身が二・二六事件直後の[illegible]に[illegible]した所であり、[illegible]に於る四月陸軍省官制を改正して從來の人事紀綱を[illegible]陸相に統一し然も今回の定期異動には右新方針に基く寺内陸相最初の異動であるだけにその異動に對する期待と興味とは[illegible]一般に集中されてゐたが[illegible]

[illegible]が明けられた感である。今回の異動は別項の如く特色あるとともに從來行ひ得なかつた點を思ひ切つて行つてゐること、並に陸相三大使命の一たる肅軍にも或る程度の斷と誠心なる活躍を拂つてゐる點が目立つて留り寺内陸相以下首腦の苦心は買つてもよい。杉山中將が教育總監たることは何から見ても人から見ても妥當と言へよう。久村中將の技術本部

長、[illegible]中將の[illegible]研究所長は當然の順序であるが兩々適材適所である。所る顏觸な人選が近代戰を支配する重要ポストに據つたことは心強い。後任兵器局長の木村少將は明朗軍官の標本、陸軍省明化の第一線である。畑中將の臺灣軍司令官は勿論、古莊中將の航空本部長、今井中將の第四師團長もやつと[illegible]が解けて一廢來福と言ふ形だがこれも先づ順當。矢野少將の[illegible]師團司令部附となつたのは惜しい。磯井少將が士官學校幹事から旅團長に轉出するのも目立つ。前田侯の陸大校長は無難。梅本少將は永田事件當時の軍事課長であるが當時の一番大事な○○の將兵長だつたことは第一線[illegible]つた。少將の旅團長轉出と共にめでたい。兵務局長の阿南少將は[illegible]たる人格者。新兵務課長の石本大佐は故石本陸相の御曹子で明敏な人格。これで新兵務局の二課長は何れも[illegible]といふことになつたのも[illegible]らしい。徳川中將が新設の教總本部長たる航空兵監長になつて陸軍の全空軍を掌握することとなつたのは明日自身が陸軍空軍航空の草分けを勤めた無天組であり更に[illegible]一番一線にあつただけに至極適任であるだけでなく、第一線に起つて活躍してゐる若い將校の將校連の前途に光明を致するものと言つてよい

親任、親補式は行はせられず
內閣より陸軍省を經て官記並に職記傳達

【東京一日發】一日付を以て發令された陸軍定期異動に伴ふ親任式並に親補式は暑中につきこれを行はせられず同日內閣より陸軍省を經て左の如く官記並に職記を傳達した

任陸軍大將 陸軍中將從四位勳一等功五級 岸本綾夫

陸軍中將同 杉山元

補教育總監兼軍事參議官 陸軍中將同 畑俊六

補臺灣軍司令官 陸軍中將從四位勳二等功五級 今井清

補第四師團長 陸軍中將從四位勳一等功四級 男爵 德川好敏

補航空兵團長

砲兵科出身の陸軍の偉才
畑中將の略歷

新臺灣軍司令官に補職された畑俊六中將は陸軍の偉才としてその死を惜まれたる故畑英太郎大將の實弟で當年五十八歲陸士第十二期生、明治三十四年砲兵少尉に任官、累進して昭和六年八月中將に昇進第十四師團長、ドイツ駐在後參謀本部課長、野戰重砲兵第四旅團長、參謀本部第四部長、同第一部長、砲兵監、第十四師團長を經たもので、陸大教育監時代にも統制で來聚、先般父飛行隊の格段で來舉するなど識見に勝れては學見な知識をもつてゐるが頭腦明晰を以て知られてゐる。杉山教育總監についで中將では最古參、獨露語に熟達で旭一、功五級

陸軍佐官級異動

【東京一日發】八月一日正式發令を見た陸軍定期異動の主なるものは既報の通りであるが佐官級異動の主なるものは左の如し

第八師團軍醫部長 一等軍醫 佐藤林太郎

任陸軍砲兵部々員 陸軍砲兵大佐 片村四八

補第十一師團參謀長 步兵大佐 青木重誠

補步兵第七聯隊長(金澤) 步兵大佐 西原貫治

補步兵第三十一聯隊長(弘前) 步兵大佐 倉茂周藏

補步兵學校教導聯隊長 兼研究部主事 步兵大佐 今村勝次

補步兵第三十二聯隊長(小倉) 步兵大佐 鈴木貞一

補陸軍省兵務局兵務課長 步兵大佐 石本寅三

補步兵第十四聯隊長(小倉)兼內閣調査官 步兵大佐 櫻井省三

補陸軍省人事局附(內閣調査官) 步兵大佐 赤柴八重藏

補士官學校附 步兵大佐 森本伸樹

補步兵第二十六聯隊長(旭川) 步兵大佐 清水規矩

補參謀本部部員 步兵大佐 野田謙吾

補士官學校教官 步兵大佐 矢野音三郎

補步兵第七十三聯隊長(羅南) 步兵大佐 竹內寬

補步兵第四十九聯隊長(甲府)

補士官學校本科生徒隊長 步兵大佐 飯沼守

補步兵學校研究部主事 步兵大佐 土屋兵馬

補步兵第二聯隊長(東京) 步兵大佐 井村久藏

補近衞步兵第二聯隊長 步兵大佐 今田俊夫

補第二十師團參謀長(龍山) 步兵大佐 中村正雄

補戰車第二聯隊長(習志野) 步兵大佐 岡本保之

補第十二師團參謀長(久留米) 步兵大佐 井上貞衛

補步兵第五聯隊長(青森) 步兵中佐 今村篤吉

補步兵第七十九聯隊附(龍山) 步兵大佐 山田清一

補步兵學校教導聯隊大隊長 步兵大佐 稻川忠

補野戰砲兵第二十七聯隊長(龍山) 砲兵中佐 權名正健

補野戰砲兵學校教官 砲兵大佐 長谷川治良

補技術本部附 砲兵大佐 眞本政一

補陸軍省兵器局課員 砲兵大佐 菅原孝平

補技術本部附兼陸軍技術[illegible]

補重砲兵第二聯隊長(和歌山)

補火工廠技術部長

補第十一師團兵器部長(善通寺) 砲兵大佐 町口泰

補陸軍省兵器局附

補東京第一陸軍造兵廠 野戰重砲兵第五聯隊長(小倉) 砲兵大佐 田部登

補陸軍大學校兵學教官 砲兵中佐 渡邊三郎

補陸軍兵務局課員 砲兵中佐 影佐禎昭

補野戰砲兵第二聯隊附(仙臺) 砲兵大佐 佐竹保一郎

補騎兵第二十六聯隊長(豐橋) 騎兵中佐 西原貫彌

補騎兵第七聯隊長(旭川) 騎兵中佐 猪木近太

補陸軍騎兵學校教導學生隊長 騎兵中佐 栗林忠道

補騎兵第六聯隊長(熊本) 騎兵中佐 [illegible]

補王公族附武官

補陸軍省兵務局課員 工兵中佐 吉原矩

補第四師團參謀 工兵大佐 岩倉卯門

補工兵監部部員 工兵大佐 下田宜力

補陸地測量部三角科長 工兵大佐 加藤鈴三

補工兵第十四聯隊長(水戶)

補陸地測量部三角科長

補工兵第十六聯隊長(京都) 工兵大佐 今中武義

補工兵學校教官 航空兵大佐 東榮治

補工兵學校教導隊長 航空兵大佐 今澤猶次郎

補飛行第三聯隊長(八日市) 航空兵大佐 栗山新太郎

補飛行第二聯隊長(各務原) 航空兵大佐 島內隆一

補○○爾部長 航空兵大佐 櫻花[illegible]

補飛行第七聯隊長(濱松)

補航空本部部員 憲兵中佐 上砂勝七

補氣球隊長 憲兵少佐 森健太郎

補輕重兵監部部員 憲兵少佐 門田善實

補宇都宮憲兵隊長 憲兵少佐 町口泰

補東京憲兵隊附 憲兵少佐 大谷敬二郎

補京都憲兵分隊長

補佐世保憲兵分隊長

補函館憲兵分隊長

補千葉憲兵分隊長

補北滿駐屯[illegible]

柳川中將四日南下
告別の爲めに

柳川中將は[illegible]行程で出發する

▲四日 午後四時二十七分高雄驛着、同五時二十分臺南驛着、同六時四十五分臺東驛着、同七時二十三分嘉義驛着(臺南ホテル泊)

▲五日 午前八時知事公舍訪問、八時三十五分高雄驛發、同九時四十七分[illegible]着

[illegible]同十一時五十分嘉義驛着、午後四時六分臺中驛着、同五時四十二分臺中驛發、十時五十七分臺北着(驛行官は北島參謀、田中副官)

頭分南庄道路
九月頃竣功か

【新竹電話】竹東郡頭分南庄間二十二キロの道路は新竹州より七十六萬圓の支出により一萬四千圓を支出して工事を急ぎつつあり目下[illegible]工事中であるが[illegible]

西南解決後も對日方針は不變
有田外相に國府が通達

【上海一日發同盟】國民政府は駐日大使許世英氏に訓電を發し有田外相に對し支那今後の對日方針は西南問題解決後と雖も不變なる旨を正式に傳へしめる事となつたが右は西南問題の解決が成功であつた結果、國民政府內には今後の對日方針につき西南問題解決の條勢を驅つて從前の兩國交涉なる態度を改め強硬策に轉ずべしとの強硬論が行はれ蔣山會議に於いても強硬なる議論が交された事實あり斯る強硬論が[illegible]日本を刺戟するは不得策なりとして今回の訓電發出となつたものである

陳飛行隊長廣東に移駐

【南京三十一日發同盟】中央空軍の陳[illegible]氏は近く部下第十隊を指揮し廣東に移駐する事となつた、目下[illegible]中の空軍は第十隊

人事

▲[illegible]氏(臺灣[illegible]) 一日[illegible]

▲[illegible]氏 [illegible]

八月五日に軍政府組織
廣西軍連席會議で協議の結果決定

【廣東一日發同盟】南寧よりの來電に依れば李宗仁、白崇禧、李濟深、黃旭初、劉蘆隱、林翼中の諸氏は廣西各界の連席會議を開催した結果八月五日を期し軍政府を組織することに決定した、宗仁氏は政府主席に、李濟深氏は副主席に、白崇禧氏は軍事總司令に內定せる外、[illegible]、林翼中氏等も政府委員に內定せる模樣で、目下南寧には各方面より失意政客[illegible]集し旺んに策動してゐる

小原國債課長左遷さる
後任は山路課長

【東京一日發】通貨取引所疑獄事件に關聯し、[illegible]として召喚取調べを受けてゐた大藏省理財局國債課長小原正樹氏は其の責任上辭官島敦適部整理部長に左遷され國債課長の後任には預金部運用課長山路[illegible]氏が任命された

副島伯當選
伯爵議員の補缺選擧

【東京一日發】伯爵議員補缺選擧は伯の逝去に伴ふ補缺選擧は一日午前九時華族會館において執行した結果八十六票の多數を以て副島正道伯當選した、伯はベルリンに在つて第十一回オリムピック大會東京招致に活躍し成功を收めた人である

自省案脫落を憂慮閣僚が諒解工作
首、藏相に個別的に

【東京一日發】各省から文書で提出した國策の豫定に關しては內閣調査局で相當の整理を示してゐるが各閣僚は重要國策中から自省の國策の落されることを憂慮し早くも廣田首相及び馬場藏相に個別的諒解工作を開始してゐることは各方面の注目を惹いてゐる卽ち三十一日の定例閣議の前後に至つて林海相、永野海相、[illegible]各相は廣田首相と會見し國策關係に對する諒解を得し他方小川商相、潮內相、林拓相等は各別個に馬場藏相と會見し國策選擇の各省自案に關して再考を求めたものの如く今月中旬以後に再び[illegible]から國策選定の實際を前にしての各閣僚の[illegible]は國策の爭奪戰として今後の政局を緊張せしめてゐる

議會の會期變更現狀維持論が有力
會計年度も同樣

【東京一日發】[illegible]

西班牙國境を伊機が飛翔
革命軍援助の爲か

【ラバツト(佛領モロツコ)三十一日發同盟】イタリー飛行機三機は三十日スペイン領モロツコとの國境地帶ルムヤ上空に飛來、內一機は墜落し三名慘死、二名重傷した何れも將校下士官である、他の一機もルムヤ河口に不時着他の一機は靡機の故障をも他所にスペイン領モロツコに飛び去つた、右イタリー軍は何れも爆彈投下裝置を有し機關銃四門を備へて居り革命軍援助とも傳へらる

伊の革命軍援助確實視さる
佛は不干涉方針拋棄

【パリ三十一日發同盟】イタリー軍用機の不時着事件につき政府當局の結果イタリー政府がスペイン革命軍を援助してゐる事に益々確實と見られるに至つたがフランス政府は之を重視し善後策を研究してゐると察される、當初フランス政府に英伊兩國に對しスペイン內政不干涉國際協定締結方提議の方針であつたが三十一日夜に至り突如右方針を放棄したと言はれ、右原因につき消息通の[illegible]はスペイン內亂の形勢が歐洲國際政局に重大反響を與へ歐洲の勢力均衡がスペイン內亂を契機として益々[illegible]

[illegible]

英・ソ海軍協定
ソ聯の特殊性に關聯し重要項目を含む

【ロンドン三十一日發同盟】英ソ海軍協定に今後[illegible]數日中に調印を見るものと[illegible]されるが、[illegible]重要項目を含む

千五百噸の輕艦を建造せず

一、日本政府が新ロンドン條約に參加しない限り今回の協定にソ聯の極東艦隊に適用せず

一、第十條(ソ聯の艦[illegible])但しソ聯にはバルチック[illegible]新協定に付き出席し得る限り新協定は遵守し他國がロンドン條約を離脱して建艦工作を開始しない限り[illegible]海軍の[illegible]外の艦艇に着手せず

一、新協定[illegible]

移轉廣告

今般[illegible]臺北市本町一ノ三七に移轉[illegible]

臺北市本町一ノ三七
合資會社 本田商會

キツト喜ばれる御贈答品には安くて丈夫な鎌野の時計を……

臺灣代理店
臺北市本町三ノ二
電話八五〇番
鎌野時計舖

讀者に聽く（十一）

一、新財源調達の如何（所得稅新設、增稅は何が適當か）
二、臺拓會社に對する希望
三、ボロ儲けと大損物語（株式に限る）
四、私の感謝と不平（實業生活に於ての）
五、私の座右銘、健康法、趣味、好きな人物

鈴木恒藏

一、財源　[illegible]

二、臺拓への希望　[illegible]

四、[illegible]

五、私の……

イ、座右銘　[illegible]

ロ、健康法　[illegible]

ハ、趣味　[illegible]

栗山新造

一、新財源調達に對する意見

イ、[illegible]

ロ、個人營業に對する[illegible]

二、臺拓への希望

イ、[illegible]

ロ、[illegible]

ハ、[illegible]

ニ、海外發展の施設に關しては[illegible]

三、ボロ儲けと大損物語

[illegible]

四、私の感謝と不平

イ、感謝　[illegible]

ロ、不平　[illegible]

五、私の

イ、座右銘　[illegible]

ロ、健康法　[illegible]

ハ、趣味　[illegible]

ニ、好きな人物　[illegible]

無水酒精の原料に　甘藷、馬鈴薯を增殖

農林省で來年度豫算に計上

內地の燃料國策

[illegible]

生産增殖

[illegible]

混合價格

[illegible]

	數量	單價	價格
設備	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蒸溜價	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蒸煮價	[illegible]	[illegible]	[illegible]
糖化價	[illegible]	[illegible]	[illegible]

燃料國策のため　內燃機萬能を排せ

內地各方面で論議さる

今日我が國に於ては燃料國策の確立の緊急性に就いて盛んに論ぜられ[illegible]

◇…海軍　[illegible]

◇…海軍　[illegible]

農相官邸に於て開かれたる　農村經濟更生委員會

[illegible]

（寫眞起てるは島田農相）

經濟時事

取引所關係者の官僚ファッショ對抗

取引所制度問題を中心に　漸進改革を主張

[illegible]

◇…稅整　[illegible]

◇…株式　[illegible]

◇…投機　[illegible]

◇…即ち　[illegible]

製麻組合の麻袋配給高

七月末迄に三百六十萬枚

[illegible]

◇…石炭　[illegible]

◇…重油　[illegible]

滿洲特產豐作

大豆は一割二分增

第一回豫想發表

[illegible]

茶業傳習所　十一日修業式

[illegible]

本邦綿布への壓迫

歐洲諸國が加工しても　エヂプトでは輸入禁止

[illegible]

臺灣織物會社總會

引續き利益は繰越　監査役は皆重任

[illegible]

大湖の蔗代引上

水田は籾價比準　早植奬勵金增額

[illegible]

	原料代	奬勵金	共合計
水田	一・三〇錢	[illegible]	四・三〇錢
畑	一	[illegible]	三・〇〇

千斤當價	奬勵金
五〇圓以上	三〇錢
五五圓同	五〇
六〇圓同	六〇
六五圓同	八〇
七〇圓同	一・〇〇
七五圓同	一・二〇

	甲當
六月植	五〇圓
七月植	四〇
八月植	二〇

料花生產販賣協會

會員は殆どブローカー　過怠金其他を議決

[illegible]

本年の茶業　尻上りの好況

昨年に比し取扱高激增　注目すべき現象

[illegible]

變化性を矯める　樟樹の品種改良

中研林業部の企て

[illegible]

東西南北

[illegible]

商況（一日）

島內米肥

臺米現物相場

[illegible]

基隆在庫米

[illegible]

高雄在庫米

[illegible]

正米市況後場

[illegible]

島內肥料相場

[illegible]

期米

大阪期米後場

[illegible]

堂島兩建控除傾合

[illegible]

堂島前場先限主なる手筋

[illegible]

堂島前場先限兩建控除主なる手振

[illegible]

株式

東京株況前場

[illegible]

大株雜觀

[illegible]

堂島雜觀

[illegible]

堂島米況前場

[illegible]

堂島米況後場

[illegible]

穀肥

大連特產前場

[illegible]

大連特產前場

[illegible]

神戶豆粕

[illegible]

神戶市中相場

[illegible]

臺銀建値

[illegible]

島內現株相場

[illegible]